



# 小学校4年

教科	活用場面	番号・活用シート名	領域番号	基になった活用シート名	市町村	学校
理科	授業 家庭学習	<a href="#">①とじこめた水について学んだことをまとめよう</a>	書7	今日学んだこと、教えるよ！	池田市	緑丘小学校
社会	授業	<a href="#">②大事なことをもらさずに聞こう</a>	話聞4	だいじなお話はいくつ？	池田市	北豊島小学校
音楽	授業	<a href="#">③鑑賞「山の魔王の宮殿にて」</a>	書2①	見たまま作文	高槻市	富田小学校
国語	授業	<a href="#">④グループで役割を決めて話し合おう</a>	話聞10	よりよい話し合いをしよう	枚方市	菅原小学校
国語 総合	授業	<a href="#">⑤自己しょうかい新聞</a>	書8	自己しょうかい新聞	八尾市	桂小学校
国語	授業	<a href="#">⑥説明的文章の書き方</a>	読8②	何が書いてある段落かな？②	松原市	中央小学校
国語	授業	<a href="#">⑦何が書いてあるだん落かな？</a>	読8②	何が書いてある段落かな？②	松原市	中央小学校
国語	授業	<a href="#">⑧文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう</a>	読7②	文と文をつなぐ言葉	豊中市	島田小学校
国語	授業	<a href="#">⑨お話を一文で表現しよう</a>	読9	お話を一文で表現しよう	高槻市	松原小学校
社会	授業	<a href="#">⑩インタビュー名人になろう</a>	話聞6	インタビュー名人になろう	摂津市	鳥飼小学校
国語	授業	<a href="#">⑪広告を読み取ろう</a>	読18	広告を読み取ろう	守口市	錦小学校
国語	授業	<a href="#">⑫ことわざや慣用句を知ろう</a>	言5	ことわざや慣用句を知ろう	枚方市	枚方小学校
国語	テスト	<a href="#">⑬それはどんなお話でしたか？</a>	読11	それはどんなお話でしたか？	枚方市	西牧野小学校
国語	授業	<a href="#">⑭文と文をつなぐ言葉1・2</a>	読7②	文と文をつなぐ言葉	枚方市	招提小学校
国語	授業	<a href="#">⑮物語の登場人物の性格をまとめよう</a>	読10	物語の登場人物の性格をまとめよう	寝屋川市	南小学校
国語	家庭学習	<a href="#">⑯毎日プリント「俳句に親しむ」</a>	言4①	俳句に親しむ	大東市	四条小学校
国語	授業	<a href="#">⑰接続語（つなぎ言葉）を使おう</a>	読7①	接続語（つなぎ言葉）を使おう	門真市	大和田小学校
国語	家庭学習	<a href="#">⑱主語と述語をみつけよう</a>	言2	主語と述語をみつけよう	門真市	脇田小学校
国語	授業	<a href="#">⑲ひみつのマークあてゲーム</a>	話聞2	ひみつのマークあてゲーム	四條畷市	忍ヶ丘小学校
国語	授業	<a href="#">⑳ことわざや慣用句を知ろう</a>	言5	ことわざや慣用句を知ろう	交野市	倉治小学校
国語	授業	<a href="#">㉑物語「ごんぎつね」をめぐって話し合おう</a>	話聞7	その生き物が好きなわけ	八尾市	桂小学校
国語	授業	<a href="#">㉒接続語を使おう 文と文をつなぐことば</a>	読7 ①②	接続語（つなぎ言葉）を使おう 文と文をつなぐことば	八尾市	八尾小学校
国語	朝学習	<a href="#">㉓ことわざや慣用句を知ろう</a>	言5	ことわざや慣用句を知ろう	河南町	近つ飛鳥小学校
国語	授業	<a href="#">㉔ひみつのマークあてゲーム</a>	話聞2	ひみつのマークあてゲーム	貝塚市	二色小学校
国語	授業	<a href="#">㉕お話を一文で表現しよう</a>	読9	お話を一文で表現しよう	茨木市	玉島小学校
国語	授業	<a href="#">㉖買いたくなる広告をつくろう</a>	書10	買いたくなる広告を作ろう！	和泉市	緑ヶ丘小学校
国語	読書タイム	<a href="#">㉗「楽しみながら本を読もう」</a>	読5	楽しみながら本を読もう	岸和田市	常盤小学校
国語	授業	<a href="#">㉘そろそろワークシート①</a>	読10	物語の登場人物の性格をまとめよう	阪南市	尾崎小学校
国語	授業	<a href="#">㉙俳句に親しむ</a>	言4①	俳句に親しむ	太子町	山田小学校

# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【池田市立緑丘小学校】

活用シート名	①とじこめた水について学んだことをまとめよう			基になった活用シート名	書7 今日学んだこと、 教えるよ！
学年	小学校4年	教科	理科	時期	7月
活用場面	授業（終末）・家庭学習			配当時間	5分

**目標** とじこめた水について学んだことをふりかえり、構成や接続語を意識して文章にまとめることができる。

**活用シート**

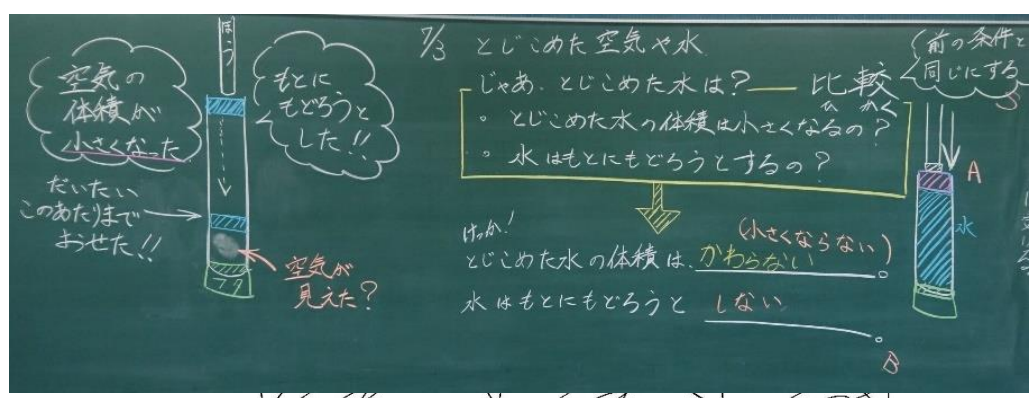
**工夫した点**

- 授業の終わりに、黒板を一緒に確認しながら、1時間の学習をふりかえる時間をとり、書く内容を確認する手立てをとった。
- 教科書やノートを見て書いてもよいということで、家の宿題にすることで、家庭学習で授業をふりかえる時間につなげた。

**成果や改善点**

- つなぎ言葉が「まず」だけで終わる児童が多くみられ、国語の学習及びそれ以外の時間でも継続的に指導していく必要性を感じた。
- 何を書けばよいのか困惑している児童も見られたので、今回のシートで上手に書けている児童のものを手本として配り、イメージを持たせたい。

**子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）**



今日、私が（理科）の授業で学んだことは、  
とじこめた空気や水のことです。

はじめに前回学習した空気のふく習しました。  
次に水を注ぎ、とじこめて実験しました。スポンジはあまり下にはしませんでした。

結果は体積はかわらなくて水はもとにもどうとしようとしたので、  
とじこめた水は、空気がちがって、  
体積はかわらなくて水はもとにもどうとしようとしたという結果にびっくりしました。

【書き方のこと】

「はじめ」  
何の教科のどんなことを学んだのかをかんたんに書きましよう。

「なか」  
学んだことをくわしく説明します。  
どのような内容だったかということや、授業中に書かれた意見などを、具体的に書きましよう。

「おわり」  
学んだことに対するあなたの意見や考えを、まとめて書きましよう。

「つなぎ言葉」  
「まず」「そして」などのつなぎ言葉を使って書きましよう。

まず、とじこめた水の体積は小さくなるのを実験しました。すると、おしんかん水がふき出してきました。なので、水の体積は小さくなりました。そして、ぼうをはなしても水はもとにもどうとしようとしたので、水はもとにもどうとしようとした。

水は、空気とちがって、体積は小さくならずませんでした。また、もじろうともしませんでした。



# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【池田市立北豊島小学校】

活用シート名	②大事なことをもらさずに聞こう			基になった活用シート名	話聞4 だいじなお話は いくつ？
学年	小学校4年	教科	社会	時期	6月
活用場面	授業			配当時間	10分

目標 大切なことを、メモをとりながら、もらさずに聞くことができる。

**活用シート**

**工夫した点**

- 内容を「下水処理場見学」に合わせて変更した。
- 守ってほしいことは、交通安全・熱中症・マナーを守るという3点にした。

**成果や改善点**

- 社会見学の留意点について、集中して意欲的に取り組む姿をみることができた。
- 学年として「聞く力」を見取ることができた。学年に応じて、文章構成を複雑にするなど、問題の難易度を調整することが可能である。

**子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）**

ふりかえり  
先生の話を最後まで聞くことができた。  
先生の話を三つのことをもらさずに聞くことができた。

話聞4 大切なことを、数えながら聞く。

ゴール 先生の話を聞いて、だいじなことをもらさずに聞こう。  
活用シートを、点線（——）で、折りましょう。

○先生が明日の社会見学についてお話をします。先生の話す内容はいくつあるのか、大切な内容を聞きもらさないように聞きましょう。

○「先生が守ってほしいと話した3つのこと」を書きましょう。

○どなたの人と「三つのこと」を確認しましょう。

「先生の話し」 ※先生がはつきり読んであげてください。

明日、みなさん社会見学で下水処理場に行きます。出発時刻は九時です。持ち物は、筆記用具と探検ボードとしおりと水筒です。忘れないようにしてください。

にするために、気を付けてほしいことが三つあります。一つ目は、移動中の交通安全に気を付けることです。二列に並んで歩き、交差点では信号をよく見てわたりましょう。二つ目は、熱中症に気を付けることです。帽子をかぶり、水筒のお茶でこまめに水分補給をしましょう。三つ目は、マナーに気を付けることです。下水処理場の方は、お仕事で忙しい中、お話をしてください。駅や電車には、いろいろな人がいます。四年生のみんななら、マナーに気を付けることができますね。この三つの気を付けることを守って、楽しい社会見学にしましょう。

いどう中にくるまにひかれないように  
ねっちゅうしようにならないこと  
マナーに気を付ける

# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【高槻市立富田小学校】

<b>活用シート名</b>	かんしょう まおう きゆうでん ③鑑賞「山の魔王の宮殿にて」			<b>基になった活用シート名</b>	書2① 見たまま作文
<b>学年</b>	小学校4年	<b>教科</b>	音楽	<b>時期</b>	2月
<b>活用場面</b>	授業（展開）			<b>配当時間</b>	30分
<b>目標</b>	音楽に合う、話を考えて書くことができる。				
<b>活用シート 工夫した点</b>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 60%;"> <p style="font-size: small;">ふりかえり 「山の魔王の宮殿にて」の音楽の特色を「始め」「中」「終わり」に分けて、それぞれにメモをして、曲に対する感想を具体的に書くように工夫した。</p> <p style="font-size: small;">○場面（始め・中・終わり）の音楽の特色をそれぞれがして、思いがけずすべしと文にしよう。</p> <p style="font-size: small;">一 かんたんにメモをしましょう。</p> <p style="font-size: small;">始めに、 次に、 最後に、</p> <p style="font-size: small;">（ ） （ ） （ ）</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽にて鑑賞した曲想を、言語化するための補助シートとして活用した。</li> <li>●曲が変調する場面をそれぞれ「始め」「中」「終わり」に分けて、メモをすることで、曲に対する感想を具体的に書けるように工夫した。</li> </ul> </div> </div>				
<b>成果や改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでは、曲の変調に対して意識することが個々では難しい子どももいたが、「始め」「中」「終わり」とし、全体で意識することで、曲の全体をとらえ、鑑賞の感想を書くことができた。</li> <li>●「しずかに」「いきおいよく」「にげだす」など、音楽の特徴をとらえた言葉を使う子どもが多かった。</li> </ul>				

子どもの様子(発言・ノート・板書・解答例・写真 等)

書 2① 鑑賞「山の魔王の宮殿にて」 4年

ゴール「始めに...次に...最後は...」を使って、順次よく書く。

場面(始め)中終わり(音楽)の持ちようをさがして、思い浮かんだようすを順次よく文しようにしよう。

一 かんたんにメモをしよう。

始めに、(ペールが山を攻めているときに)宮殿があったので、(ペールが)入った。(魔王が)出てきた。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。

次に、(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。

最後は、(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。

二 メモしたことをもとに、「始めに」「次に」「最後は」という言葉を必ず使って、文しようを書きましよう。

ある日のことでした。始めにペールが山を攻めているときに、近くに宮殿があったので入って見ました。次に、歩いてみたら、後ろからだれかが追ってくる心配がしたので、振り向いて見ました。すると、後ろから魔王が追ってきていました。するとペールは近くに落ちていたけんをひろいました。そのけんをペールは魔王と戦いました。最後は、ペールが魔王に勝ったので、安心してペールは宮殿を出ました。

はじめの中、おわりの場面(うつつ)のかわりがわかりやすいです。音の持ちようがよくまじっていますね。



書 2① 鑑賞「山の魔王の宮殿にて」 4年

場面(始め)中終わり(音楽)の持ちようをさがして、思い浮かんだようすを順次よく文しようにしよう。

一 かんたんにメモをしよう。

始めに、(ペールが山を攻めているときに)宮殿があったので、(ペールが)入った。(魔王が)出てきた。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。

次に、(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。

最後は、(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。

二 メモしたことをもとに、「始めに」「次に」「最後は」という言葉を必ず使って、文しようを書きましよう。

ある日のことでした。始めにペールが山を攻めているときに、近くに宮殿があったので入って見ました。次に、歩いてみたら、後ろからだれかが追ってくる心配がしたので、振り向いて見ました。すると、後ろから魔王が追ってきていました。するとペールは近くに落ちていたけんをひろいました。そのけんをペールは魔王と戦いました。最後は、ペールが魔王に勝ったので、安心してペールは宮殿を出ました。

はじめの中、おわりの場面(うつつ)のかわりがわかりやすいです。音の持ちようがよくまじっていますね。

書 2① 鑑賞「山の魔王の宮殿にて」 4年

場面(始め)中終わり(音楽)の持ちようをさがして、思い浮かんだようすを順次よく文しようにしよう。

一 かんたんにメモをしよう。

始めに、(ペールが山を攻めているときに)宮殿があったので、(ペールが)入った。(魔王が)出てきた。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。

次に、(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。

最後は、(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。(魔王が)ペールを倒した。

二 メモしたことをもとに、「始めに」「次に」「最後は」という言葉を必ず使って、文しようを書きましよう。

ある日のことでした。始めにペールが山を攻めているときに、近くに宮殿があったので入って見ました。次に、歩いてみたら、後ろからだれかが追ってくる心配がしたので、振り向いて見ました。すると、後ろから魔王が追ってきていました。するとペールは近くに落ちていたけんをひろいました。そのけんをペールは魔王と戦いました。最後は、ペールが魔王に勝ったので、安心してペールは宮殿を出ました。

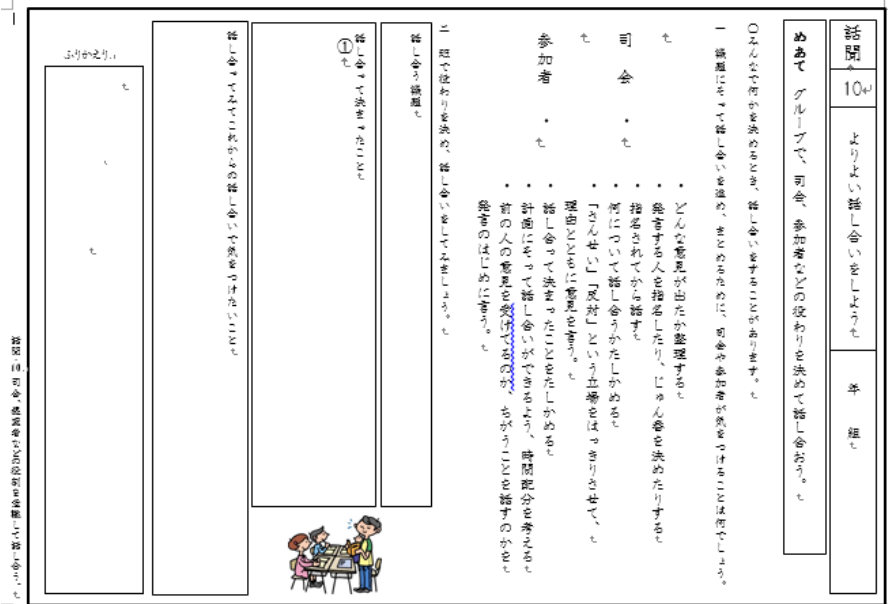
はじめの中、おわりの場面(うつつ)のかわりがわかりやすいです。音の持ちようがよくまじっていますね。



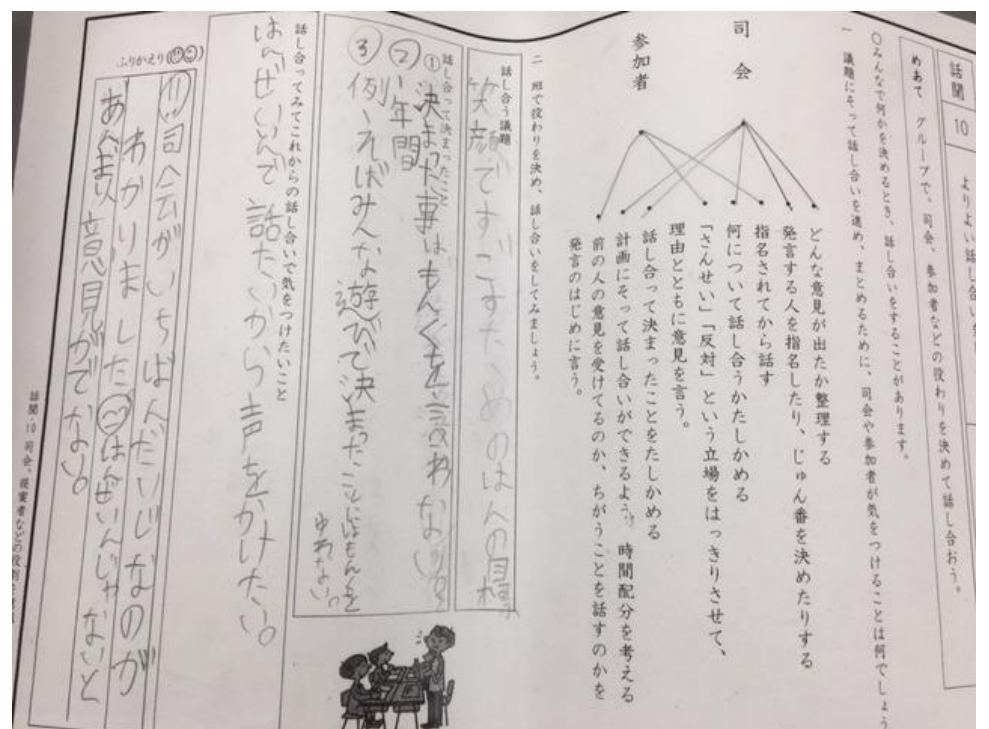
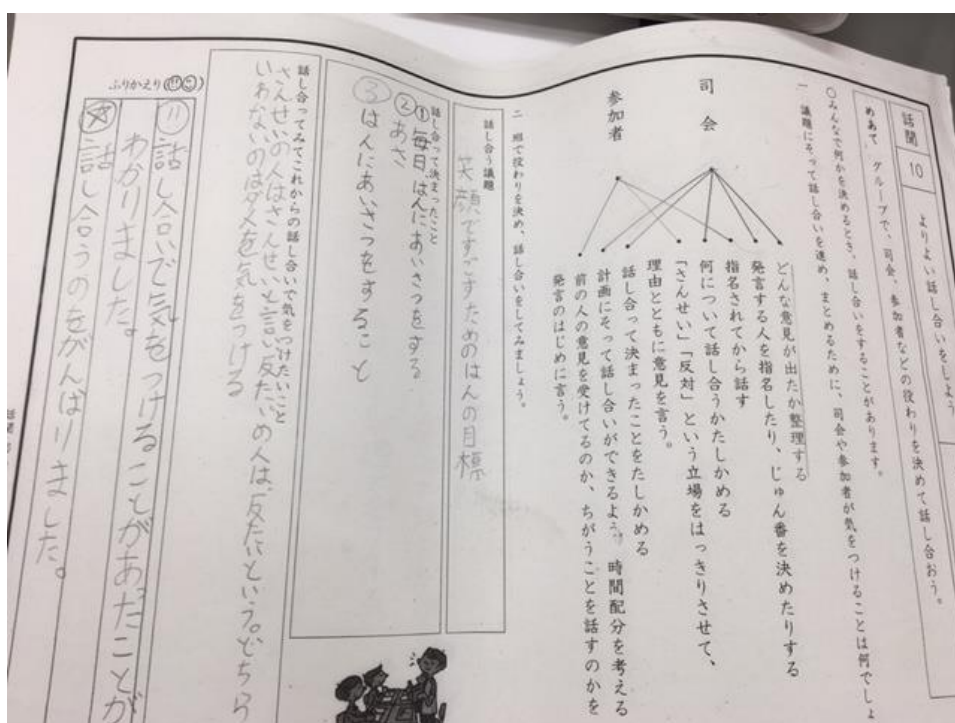


# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【枚方市立菅原小学校】

<b>活用シート名</b>	④グループで役割を決めて話し合おう			<b>基になった活用シート名</b>	話間10よりよい話し合いをしよう
<b>学年</b>	小学校4年	<b>教科</b>	国語	<b>時期</b>	6月
<b>活用場面</b>	授業			<b>配当時間</b>	30分
<b>目標</b>	グループで、司会、参加者などの役割を決めて話し合おう。				
<b>活用シート</b>  <b>工夫した点</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書にあわせて「参加者」とした。</li> <li>●線結びも教科書の内容にあわせて変更した。</li> <li>●話し合う議題については、クラスのニーズに合わせて変更した。</li> </ul>				
<b>成果や改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●話し合い方を効率よく確認できたので話し合いに時間をかけることができた。</li> <li>●決まったことをフリーの枠で作ったが、児童の実態としては、行があった方が書きやすかった。</li> </ul>				

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



- 自分の意見を明らかにしたり、全員が参加者になって話し合ったりすることが難しいことに気づいた。

# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【八尾市立桂小学校】

活用シート名	⑤自己しょうかい新聞			基になった 活用シート名	書8 自己しょうかい新聞
学 年	小学校4年	教 科	国語・総合	時 期	6 月
活用場面	授 業			配当時間	1 時間
目 標	<p>目的に合わせて取材をすることができる。</p> <p>知らせたいことを選んで、新聞記事を書くことができる。</p>				
活用シート 工夫した点	<p>●活用方法</p> <p>① 4年国語「新聞をつくろう」(光村図書)で、新聞の形にまとめる方法を知る。</p> <p>② 遠足で撮ってきた花の写真から知らせたいことを選び、新聞記事を考える。</p> <p>③ 字数制限に合うように、まとめる。</p>				
成果や改善点	<p>●4・5月に理科で植物について学んでいるので、興味や関心、知識を持った状態で、今度は自分たちが遠足で印象に残った花を紹介する(国語科・総合で)という目的を持って遠足に行くことができた。</p> <p>●ゴールがはっきりしていることで、意欲的にオリエンテーリングにとりくみ、気になった花を写真にしっかりとおさめていた。また、自分が撮った写真で新聞作りをすることで、国語科の「新聞をつくろう」の単元でも主体的にとりくむことができ、一人ひとりの個性が出た。</p> <p>●他教科との関連を持たせ横断的なとりくみができたこと、連続した学びを進められたことが成果である。</p> <p>●新聞記事を書く際に、マスをつけたことで、字数が制限され、簡単な内容になってしまった児童もいる。(オリエンテーリングで書いてあったことを写すだけの児童など。)</p> <p>●今後は、さらに自分のおすすめしたいと思った考えを詳しく入れて書けるような手立てを考えていく必要がある。</p>				



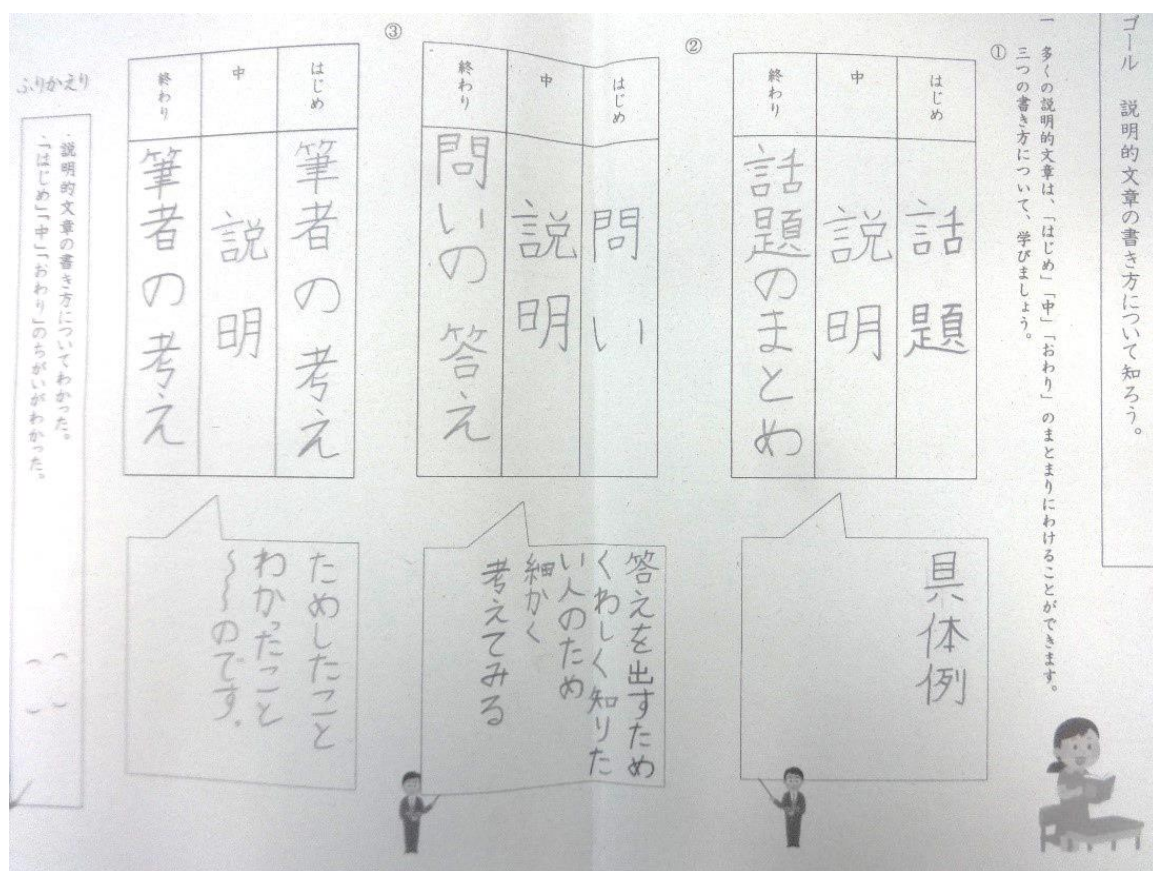


# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【松原市立中央小学校】

<b>活用シート名</b>	⑥説明的文章の書き方			<b>基になった活用シート名</b>	読8② 何が書いてある段落かな?②
<b>学年</b>	小学校4年	<b>教科</b>	国語	<b>時期</b>	6月
<b>活用場面</b>	授業			<b>配当時間</b>	5分×3
<b>目標</b>	説明文のしくみについて学ぶ。				
<b>活用シート</b>  <b>工夫した点</b>					
<b>成果や改善点</b>	説明的文章に出会うたびに、どの書き方なのかを振り返られるようにしてもよい。				

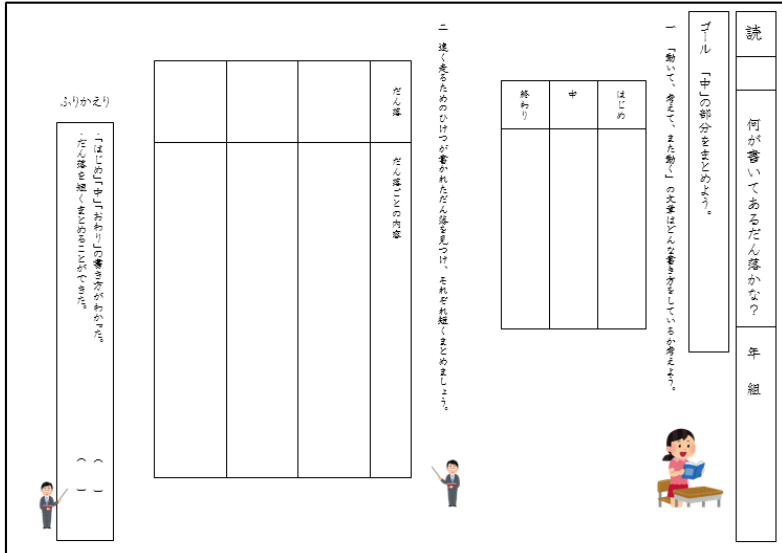
## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



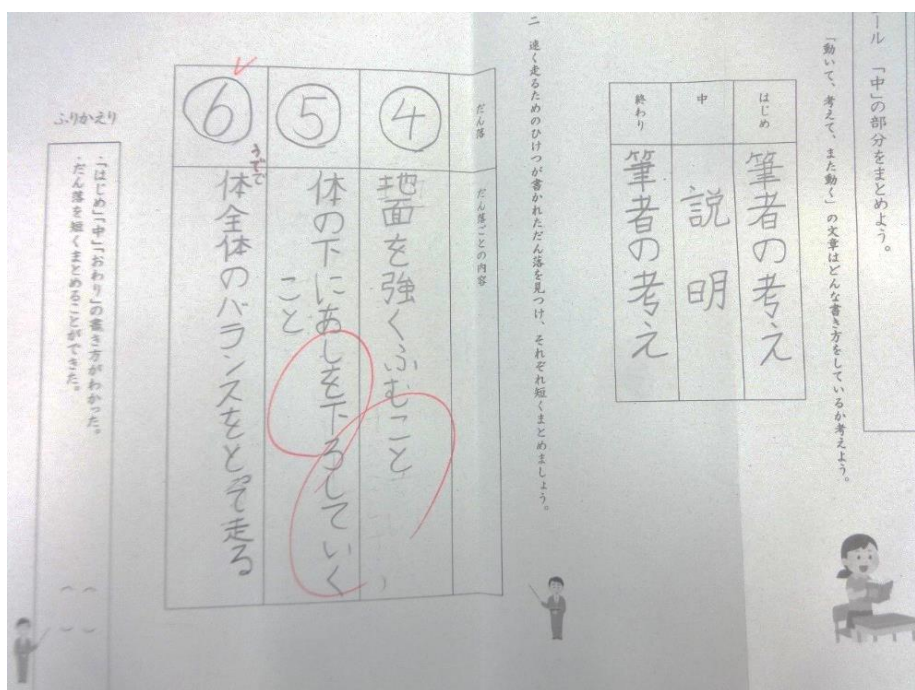
- 説明的文章の構成をまとめた際に使用したので、静かに板書を写していた。

# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【松原市立中央小学校】

活用シート名	⑦何が書いてあるだん落かな？			基になった活用シート名	読8② 何が書いてある段落かな？②
学年	小学校4年	教科	国語	時期	6月
活用場面	授業			配当時間	30分
目標	説明文のしくみについて学ぶ。				
活用シート 工夫した点				<ul style="list-style-type: none"> <li>● はじめ・中・おわりの文章を自分で書くための手立てとして活用した。（「中」の部分をもとめる際に活用）</li> <li>● 教科書に書かれた内容を、段落ごとに短い文（要点）にまとめるようにした。</li> <li>● そのプリントを見て、ノートに文章を書けるようにした。</li> <li>● 要点をまとめるために、事前に大事な文章を選ぶ活動を行った。</li> </ul>	
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● くり返し学習したことで、はじめ・中・おわりの構成や分類ができるようになってきた。</li> <li>● 要点をまとめるために、段落ごとのキーワードを見つけることが必要だと気づくことができた。</li> <li>● キーワードを使って文にする際、主語・述語を意識して書くことができておらず、普段からの積み重ねの弱さが見られた。</li> </ul>				

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

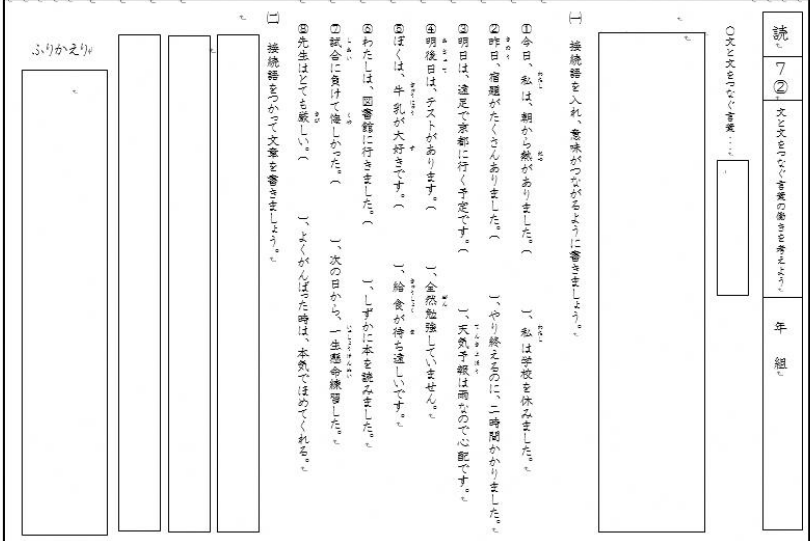


- 選んだ文章に線を引いていたことで、要点にまとめることに、あまりむずかしさは感じていないようだった。
- できるだけ短くしようと言うと、「20文字以内でできた。」など、意欲的に書けていた。

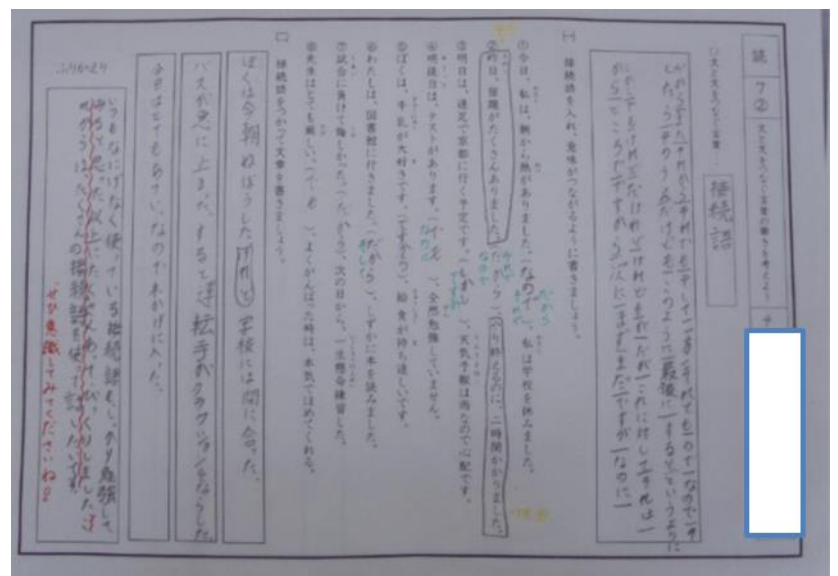
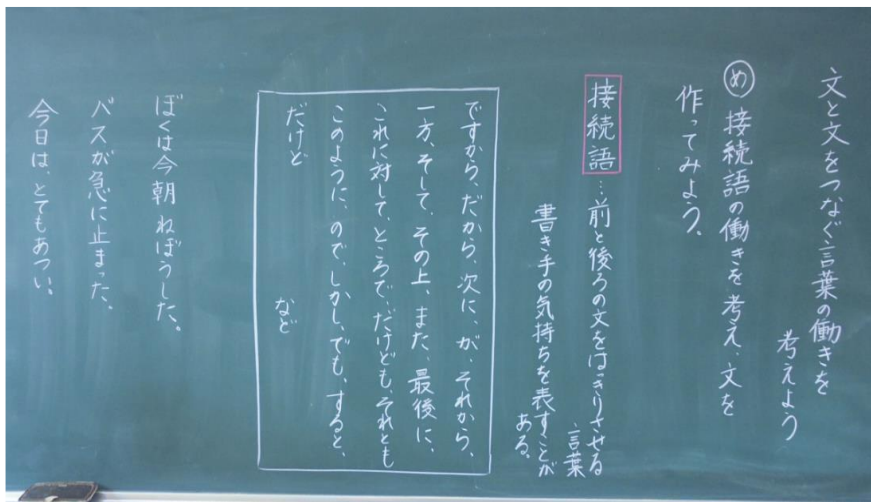


# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

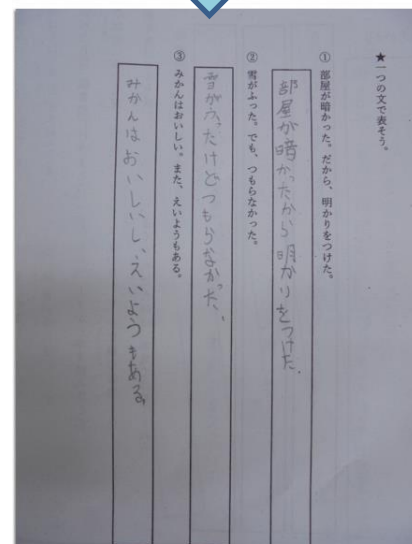
【豊中市立島田小学校】

<b>活用シート名</b>	⑧文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう			<b>基になった活用シート名</b>	読7② 文と文をつなぐ言葉
<b>学年</b>	小学校4年	<b>教科</b>	国語	<b>時期</b>	12月
<b>活用場面</b>	授業（文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう）			<b>配当時間</b>	45分
<b>目標</b>	接続語の知識を増やし、それを使って文をつくることができる。				
<b>活用シート</b>					
<b>工夫した点</b>					
<b>成果や改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接続語を教科書に載っている説明文や物の中から見つけことで、いろいろな場面使われていることに気が付くことができた。</li> <li>●たくさんの接続語を見つけ、その中で悩んだ言葉については、友達と話し合うことができた。</li> <li>●シートの裏に、二つの文を一つにする課題を載せていたが、時間配分が悪く、できない児童が多かった。</li> </ul>				

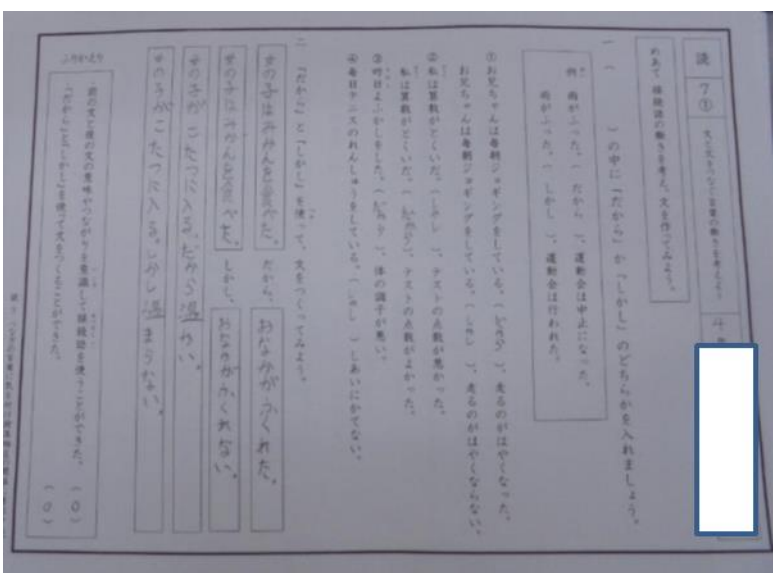
## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



裏面



前時の学習のワークシート



# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【高槻市立松原小学校】

活用シート名	⑨お話を一文で表現しよう			基になった活用シート名	読9 お話を一文で表現しよう
学年	小学校4年	教科	国語	時期	10月
活用場面	授業（短時間学習）			配当時間	15分×3回
目標	物語をできるだけ簡潔に要約することができる。				

活用シート

工夫した点

読9 お話を一文で表現しよう

ゴール キーワードを見つけて、お話を一文で表現してみよう。

○ あなたが読んだ本や、学校で学習したお話について考えよう。

一 お話をよくわしく読みましょう。

\* あなたが読んだ本の題名は？

\* 作者はだれでしょう？

\* どんな人物がでてきますか？（登場人物）

\* その中で主人公はだれでしょう？

\* いつのころ（時）

\* 場所はどこ？（お話の場所・場面）

\* どんなことがあったか？（事件など）

○ お話の中で大きく変わったことは？

二 お話を一文で表現してみよう。

例 ○○○が、△△といっしょに、□□をして、◇◇になるお話

ふりがり  
お話をまとめるときに、キーワードを考えよう。

「○○」になるお話、「△△」になるお話、「□□」するお話のように、お話を一文でまとめることができます。

ここは、お話によって、場面ごとに変わるので、一番のクライマックス場面を書いてよい。

作品の読みを一文で表現する学習は、お話の主題（テーマ）を考え、全体から内容をつかお読み方を身につけることにつながります。読書記録として、本を読むたびに書くといいですね。

お話をまとめたり、一文で表現したりするために、こういう点に注意して読み進めていこう！

- 要約をするときには最後に「～な話」とまとめるように指導した。
- 授業で登場人物の変容についてふれたので、ことばのちからで紹介する物語も登場人物の変容や状況の変化がみられる物語を選ぶように指導した。そのため、今まで学習した物語も可とした。

●物語内のたくさんの情報から、要約するために必要な情報を取捨選択するポイントを知ることができた。

●一文で表すために、何文字でまとめるかを決めていなかったため、1に挙げた情報を全て使おうとする児童もおり、選択した情報の中から最低限どの部分が必要で、どの部分を削除するのかを明確にする必要があった。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【摂津市立鳥飼小学校】

活用シート名	⑩インタビュー名人になろう			基になった活用シート名	話聞6 インタビュー名人になろう
学年	小学校4年	教科	社会	時期	6月
活用場面	授業（展開）			配当時間	30分
目標	浄水場への社会見学に向けて、質問を考える。				

**活用シート**

**工夫した点**

- 社会見学で浄水場へ行くので、活用シートを変更した。
- 質問欄を大きくし、複数の質問を考えられるようにした。

**成果や改善点**

- 社会見学前に、聞きたいことを考えることができた。
- 型を提示することで、スムーズに質問をすることができた。
- 相手の答えをメモしながら、聞くことができた。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）





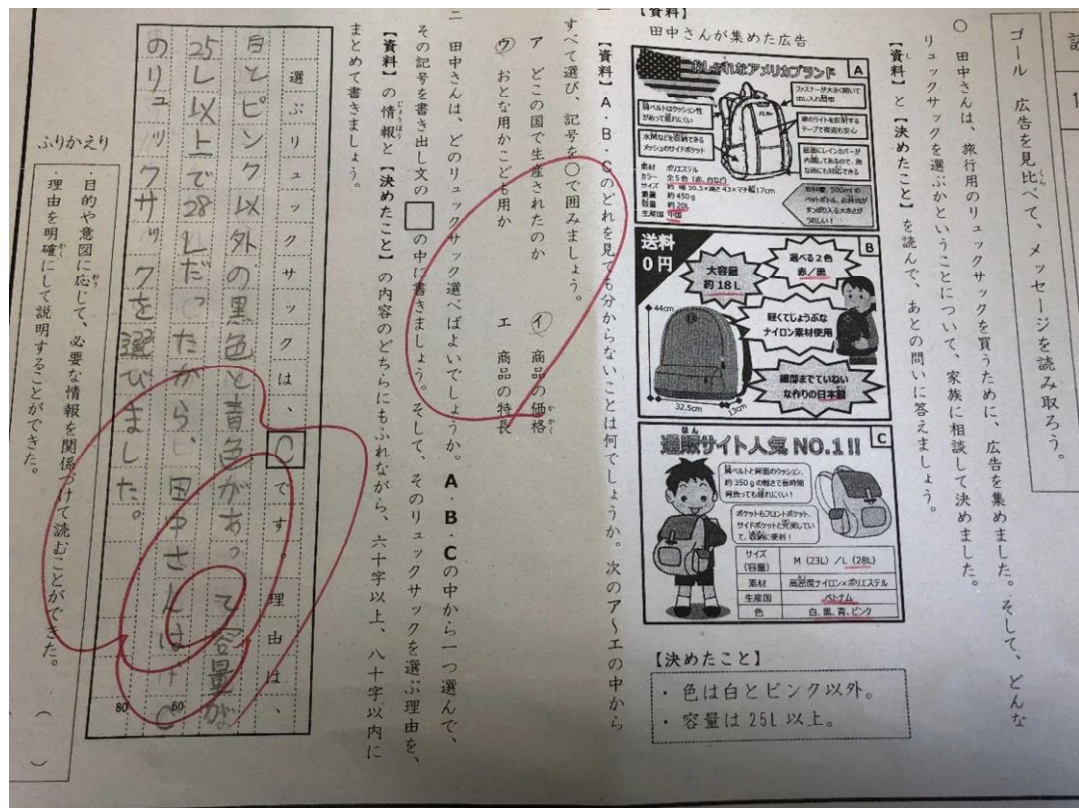
# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【守口市立錦小学校】

活用シート名	①広告を読み取ろう			基になった活用シート名	読18 広告を読み取ろう
学年	小学校4年	教科	国語	時期	12月
活用場面	授業			配当時間	45分
目標	目的や意図に応じて必要な情報を関係づけて読むことができる。				
活用シート	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文章から必要な情報を関係づけて読むことが苦手なため単発の授業で取り入れた。</li> <li>●活用シートはそのまま使った。</li> <li>●読み取りが苦手な子への支援として、決めたこと（色と容量）に関する情報のところに赤で線を引かせて注目すべき情報を見つけさせてから問題に取り組ませた。</li> </ul>				
工夫した点					
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広告という普段見慣れた形式だったため、文字だけの長い文章よりは意欲的に情報を読み取ることができていた。</li> <li>●理由を書くときに字数制限があったため文を必要なことだけ書き、まとめようと考えていることができていた。</li> </ul>				

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

- ・リュックサックの広告という身近な題材のため興味を持って読むことができていた。

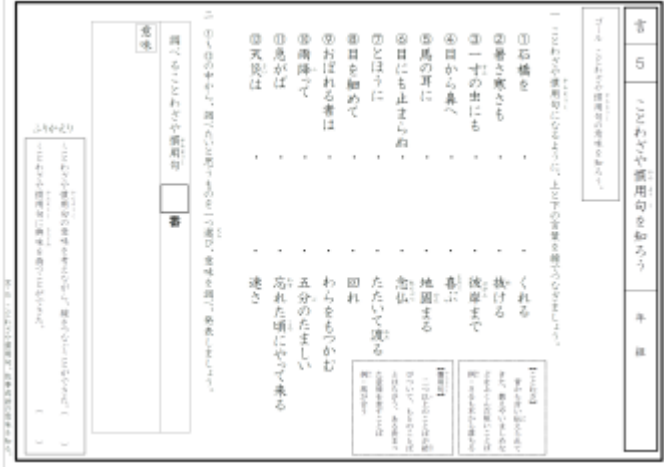


字数制限があり、短すぎる子が多かった。  
(白とピンク以外の色があって25L以上あるからです。のように)



# 「ことわざのちから」活用シート 活用事例

【枚方市立枚方小学校】

活用シート名	⑫ことわざや慣用句を知ろう			基になった活用シート名	言5 ことわざや慣用句を知ろう
学年	小学校4年	教科	国語科	時期	10月
活用場面	授業			配当時間	10分
目標	慣用句を調べ、慣用句を使った文をつくろう。				
活用シート  工夫した点	 <p>慣用句を学習した後、適用問題としてプリントに取り組みました。          ●授業で取り扱っていない慣用句やことわざもあったので、国語辞典で意味を調べさせた。</p>				
成果や改善点	<p>●成果：国語辞典を活用しながら学習したので、子ども達は、意欲的に学習に取り組んだ。          国語の学習で適用問題として扱うのに良かった。          教科書に載っていない慣用句もあったため、進んで慣用句を調べることができた。</p> <p>●課題：ことわざを取り扱っていなかったため、慣用句だけにしたほうがよかった。</p>				

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

○慣用句を使って短い文を作りましょう。

はねをのばす	おさえつけられていたものが自由になり、のびのびする。
頭が回る	調子が出て、仕事がかどる。しずかになって、かどがる。
エンジンがかかる	調子が出て、仕事がかどる。
うり二つ	顔がたちなどがそくりにしていること。
メスを入れる	問題の根本的な解決のために思いきった手段をとる。
心がおどる	わくわくする。ドキドキする。
頭をひねる	いい考えを出そうと、一生懸命に考える。
馬が合う	おたがいの気持ちがしっくりいく。気が合う。

慣用句  
四年 三組 名前

調べることわざや慣用句

意味：急ぐからといって、ずいぶん近道を選び、少し遠回りでも安全な道を選ぶほうが、けろくは早くつくことわざ。

①石橋を  
②暑さ寒さも  
③一寸の虫にも  
④目から鼻へ  
⑤馬の耳に  
⑥目にも止まらぬ  
⑦とほうに  
⑧目を細めて  
⑨おぼれる者は  
⑩雨降って  
⑪危がば  
⑫天災は

くれる  
抜ける  
彼岸まで  
鼻  
地固まる  
念仏  
たたいて渡る  
回れ  
わらをもつかむ  
五分のたましい  
忘れた頃にやってくる  
速さ

# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【枚方市立西牧野小学校】

活用シート名	⑬それはどんなお話でしたか？			基になった活用シート名	読11 それはどんなお話でしたか？
学年	小学校4年	教科	国語	時期	11月
活用場面	見取りテスト			配当時間	20分

**目標** 登場人物の気持ちが大きく変化したところをとらえて、文章をもとに条件に基づいて説明できる。

**活用シート**

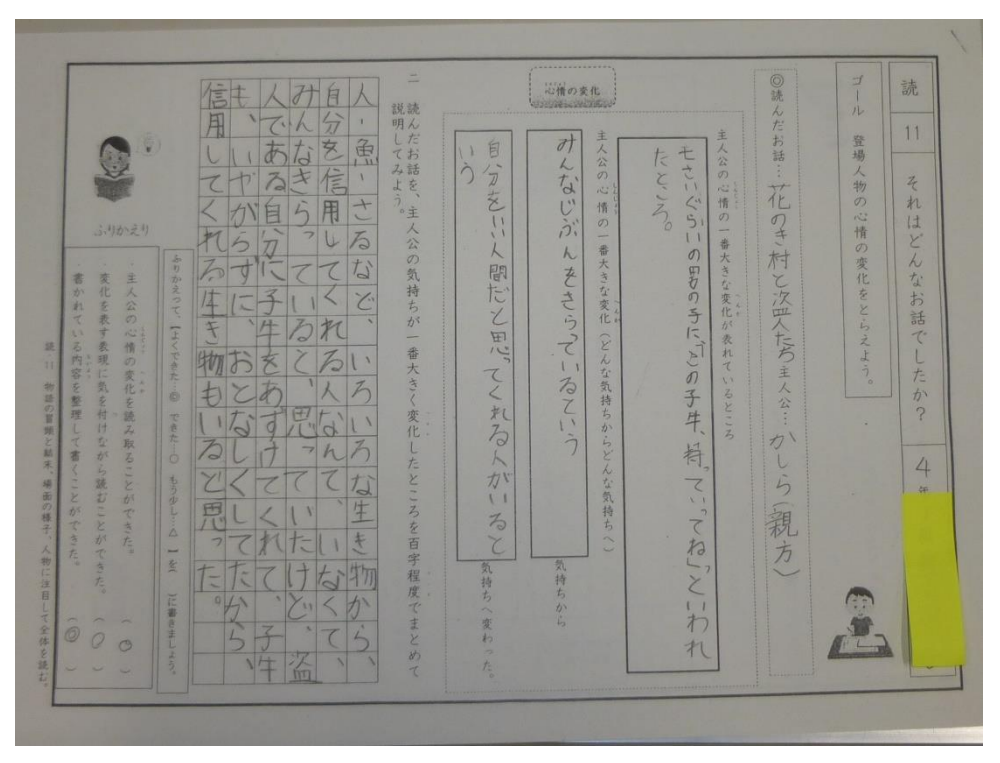
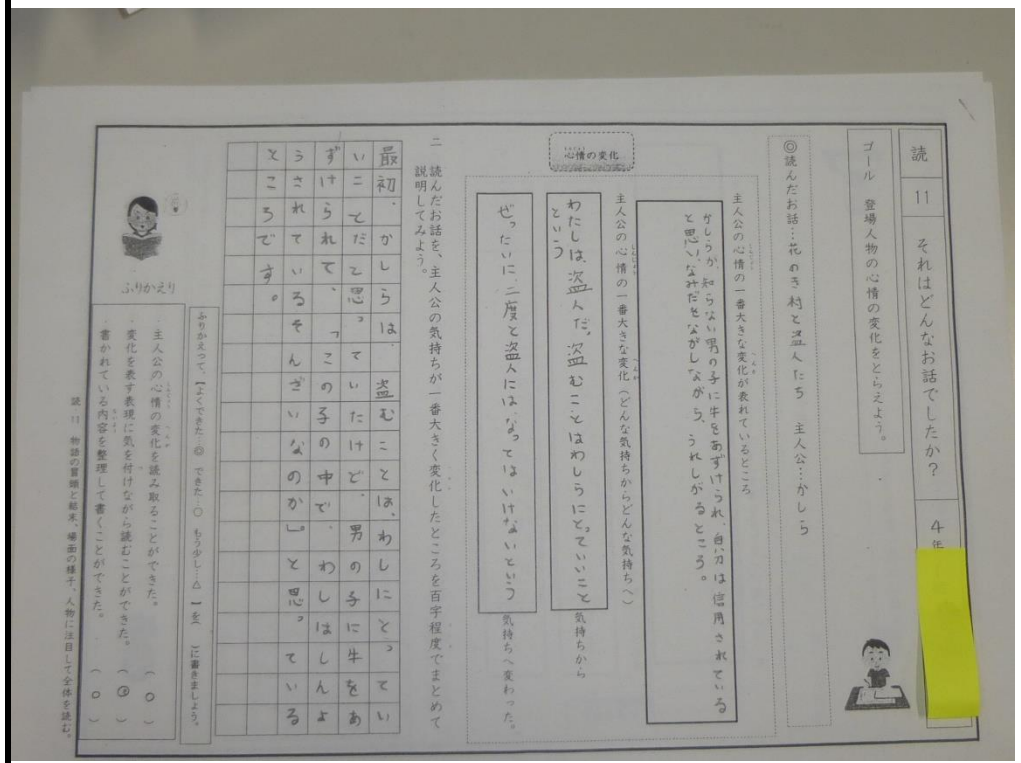
**工夫した点**

- 登場人物の気持ちが大きく変化したと読み取れる文章や言葉を明確にもてるようにした。
- 気持ちの変化をとらえることを学習してきたので、一番大きく変化したところを百字という条件を付けて、かかせるようにした。
- 今回、不必要と思われる部分は削除してシンプルにした。

**成果や改善点**

- 学習の重点としてきたことが児童の力となったかを見取ることができた。
- 児童は、登場人物の気持ちの変化を、文章を根拠に読み取り、書き表すことができた実感できた。
- 見取りテストでの問い方をより分かりやすくできればと思った。

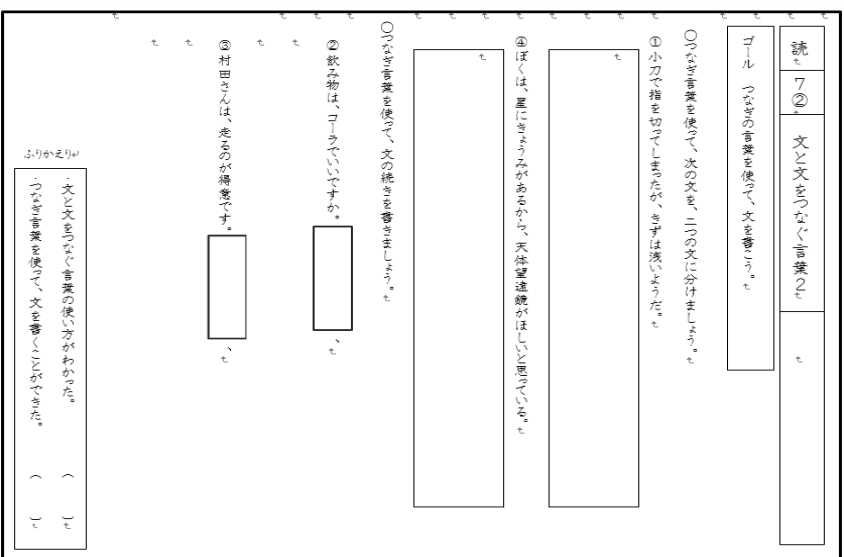
**子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）**



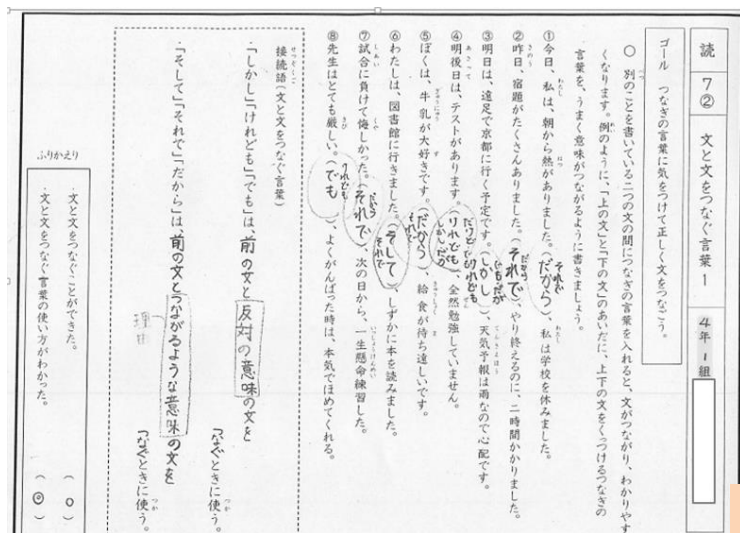
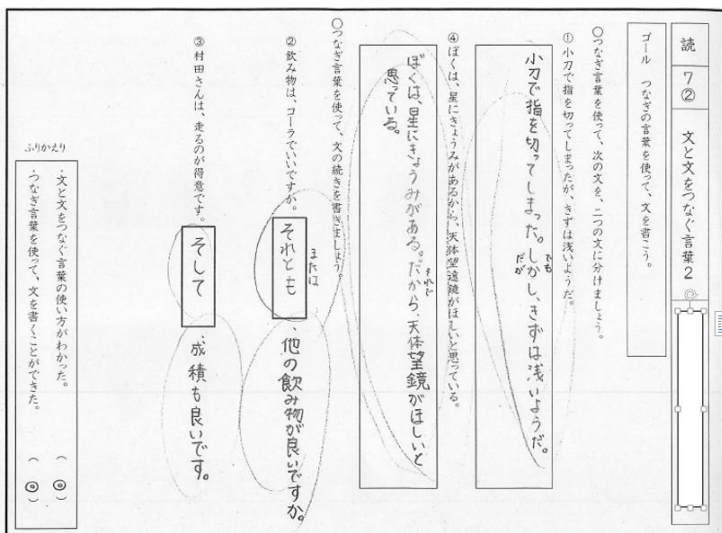
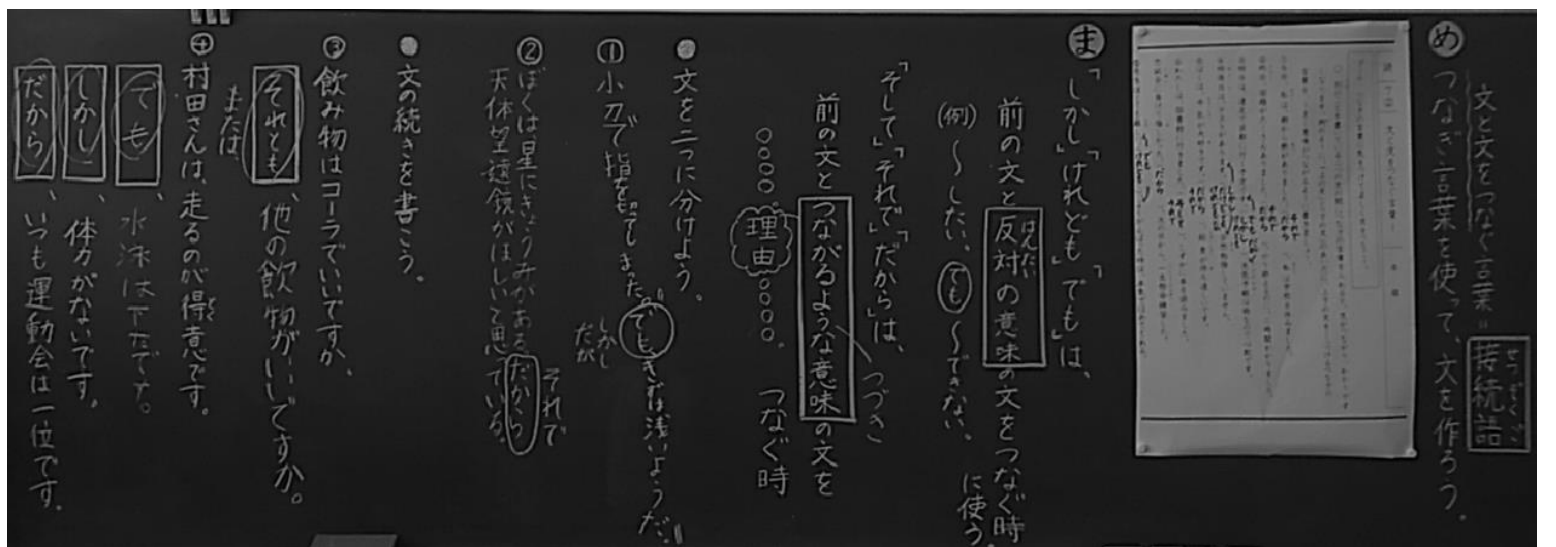


# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【枚方市立招提小学校】

<b>活用シート名</b>	⑭文と文をつなぐ言葉 1・2			<b>基になった活用シート名</b>	読7② 文と文をつなぐ言葉
<b>学年</b>	小学校4年	<b>教科</b>	国語	<b>時期</b>	11月
<b>活用場面</b>	授業（展開）			<b>配当時間</b>	45分
<b>目標</b>	つなぎ言葉（接続語）の使い方を知り、つなぎ言葉を使って、短い文を書く。				
<b>活用シート 工夫した点</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;">  <p>●シート1：接続語の使い方を自分でまとめられるように、まとめを書く枠を設けた。</p> </div> <div style="width: 48%;">  <p>●シート2：活用シートは順接と逆接のみの取り扱いだが、4年の教科書のように、その他の接続語も取り入れた。 ●シート2：4年の教科書に出ているように、一つの文章を接続語を使って二文に分けたり、接続語を使って、文の続きを作ったりする活動を取り入れた。</p> </div> </div>				
<b>成果や改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文章に合う接続語を考え、どんな時に使うかを自分の言葉で考えることができた。</li> <li>●友だちの発表によって、色々な接続語があることを知り、読んだり書いたりして使うことができた。</li> <li>●シート2に取り入れた接続語の種類が少なかったため、「また」や「つまり」など他の接続語も使う問題にすればよかった。</li> </ul>				

## 子どもの様子



「ことばのちから」活用シート 活用事例

【寝屋川市立南小学校】

活用シート名	⑮物語の登場人物の性格をまとめよう			基になった活用シート名	読10 物語の登場人物の性格をまとめよう
学年	小学校4年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業（展開）			配当時間	45分

目標 登場人物は、どのような性格なのか考えよう。

活用シート  
工夫した点

- もとはほかの物語を読む活動を行うようなプリントだったので、これを「ごんぎつね」の登場人物に限るように作り替えた。
- このプリントで「ごんぎつね」の登場人物の性格をこのプリントでまとめた後に単元活動として設定したリーフレット作りに活かすことができるようにした。
- 全文をある程度読み込んだ状態で行った。また授業中にこれまで行った授業のノートを参考にすることで、ある程度教科書に書いている場所を特定できるようにした。

成果や改善点

- 単元の目標である、叙述をもとにした登場人物の気持ちを考えることができた。
- ごんと兵十の気持ちを比べることができた。
- 同じところや似ているところを発表しやすい活動になった。
- 話し合う活動を行う必要があった。
- 書く場所が多く授業で扱うには多かったため、宿題として事前に行うべきだった。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

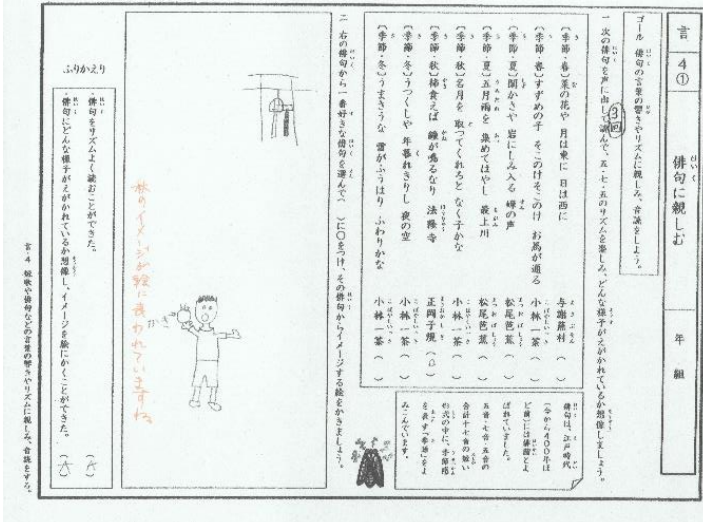
- ・意見としてはごんの性格として「さみしがりや」、「本当はいいきつね」という意見が多かった。
- ・兵十は記述が少ないからか、「貧乏」、「かわいそう」が多いものの、そのほかに「いつも元気」、「まじめ」などもあった。
- ・同じ文章から異なる気持ちが意見として出る場面もあった。

[目次へ戻る](#)



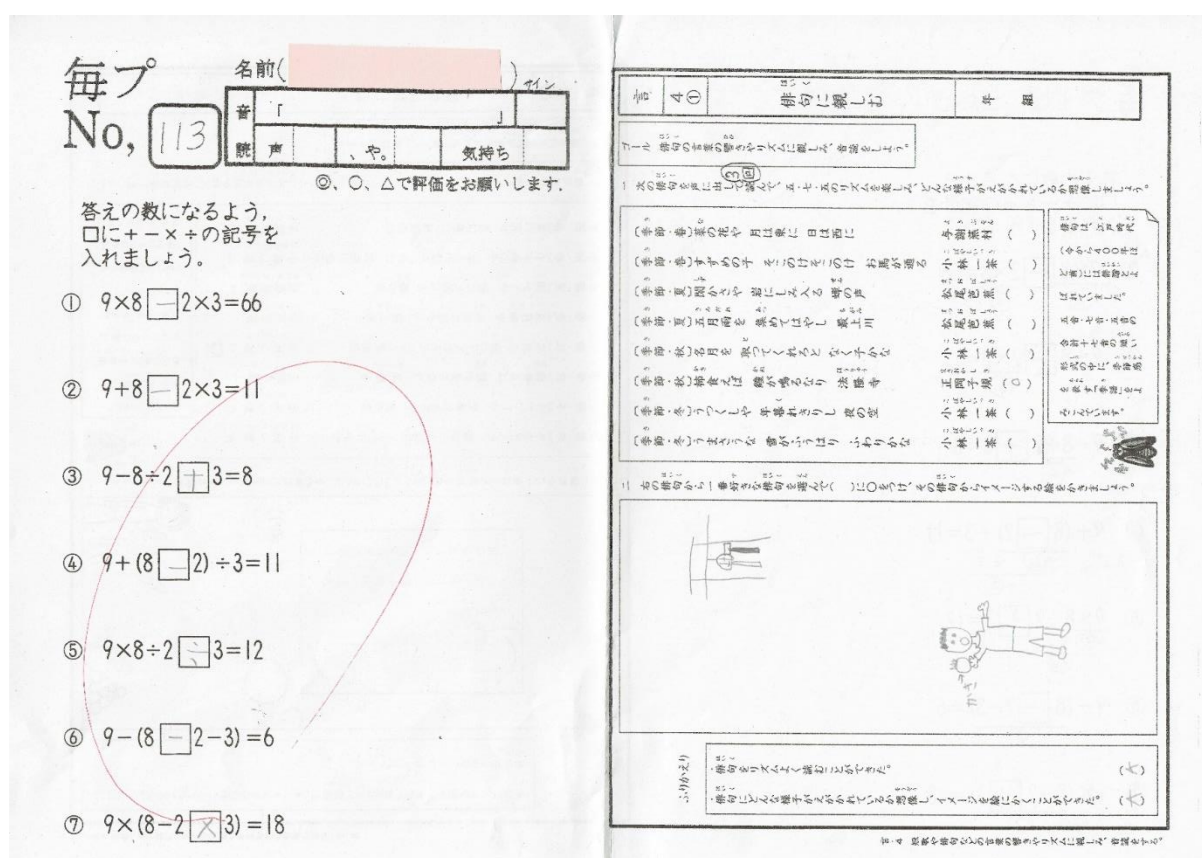
# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【大東市立四条小学校】

<b>活用シート名</b>	⑩毎日プリント「俳句に親しむ」			<b>基になった活用シート名</b>	言4① 俳句に親しむ
<b>学年</b>	小学校4年	<b>教科</b>	国語	<b>時期</b>	11月
<b>活用場面</b>	宿題			<b>配当時間</b>	20分
<b>目標</b>	自ら考え、既習内容を活用し、表現する力をつける。				
<b>活用シート</b>  <b>工夫した点</b>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>●自分で俳句を選んで、絵で表現するという問題なので、文章に書くのが苦手な子でもできるのではないかと考えた。ただし、一度読んだだけでは情景をイメージすることまでは難しいと考え、3回読むという設定に修正した。</p> </div> </div>				
<b>成果や改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全校で取り組んでいる毎日プリントでは、各学年の課題克服のための問題を印刷し宿題にしているが、「ことばのちから」の問題も取り入れている。自ら考え文章を書く力や表現する力を付けていくことができている。</li> <li>●「よくわからなかった」という理由で書けていない子も中にはいるので、そのような児童へのフォローアップに苦労した。</li> </ul>				

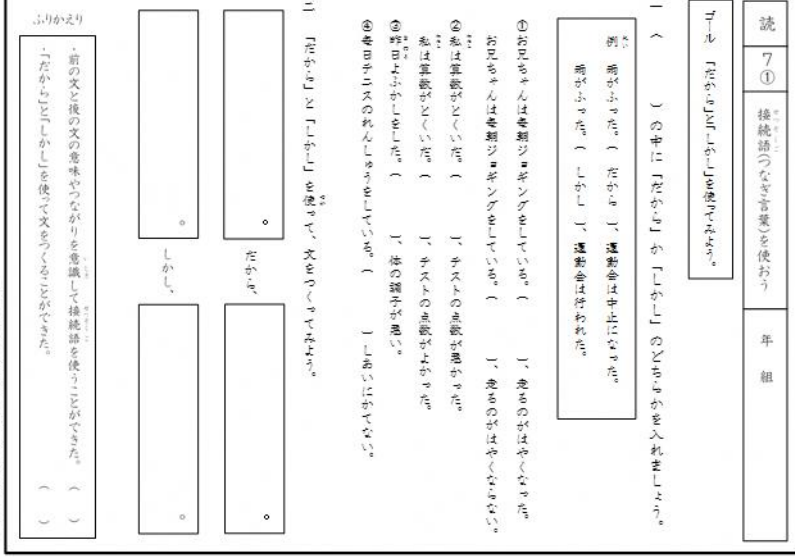
## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

- 同じ俳句でもちがうイメージで描いている子がいて、教室に掲示して、その多様性に気づくことができた。
- 児童だけではイメージしにくかったという保護者からの意見もあった。保護者の中には、いっしょに考えてイメージしやすいように会話の時間を設けることができたというメッセージもあった。



# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

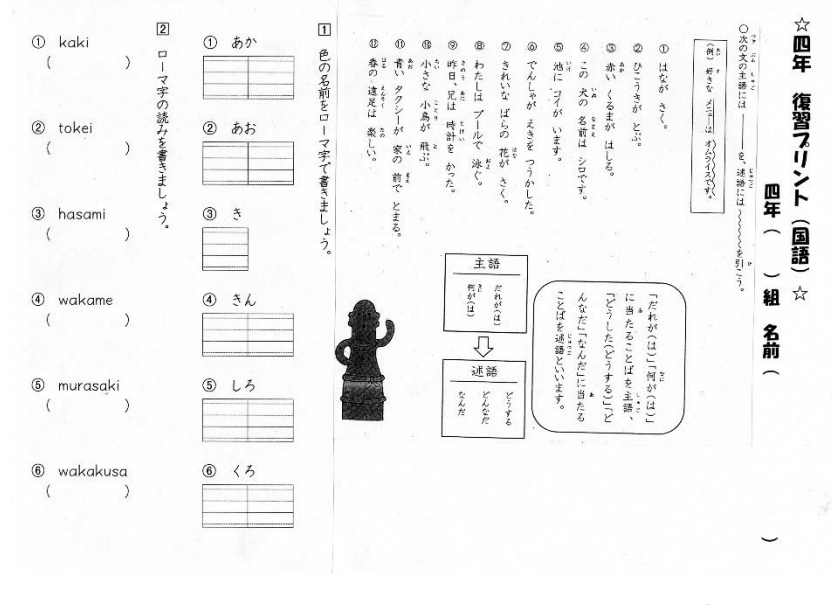
【門真市立大和田小学校】

<b>活用シート名</b>	⑰接続語（つなぎ言葉）を使おう			<b>基になった活用シート名</b>	読7① 接続語（つなぎ言葉） を使おう
<b>学 年</b>	小学校4年	<b>教 科</b>	国語	<b>時 期</b>	11月
<b>活用場面</b>	授業（導入）			<b>配当時間</b>	15分
<b>目 標</b>	接続語（「だから」、「しかし」）を使い分けて文を書く。				
<b>活用シート 工夫した点</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●二、「だから」「そして」を使って文作りを行う際に、文の書き出しを、 「おなかがすいた。だから、～」 「おなかがすいた。しかし、～」 と揃えて書かせることで、自分の書いた文と比べて考えられるようにした。</li> <li>●接続語の導入をこのワークシートで行い、接続語を使った文づくりをノートに書くことで定着を図った。</li> </ul> </div> </div>				
<b>成果や改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●改善点：一、①②の問題がそれぞれ2問ずつあるので、①-1、①-2 というようにすべての問題に番号を打っておいてほしい</li> <li>●成果：「だから」と「しかし」をほかの接続語に変えれば、ワークシートが無限に使えるのでよい。</li> </ul>				
<b>子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）</b> <p>・どの子も意欲的に取り組むことができた。ワークシートを活用して段階的に文作りに取り組んだので、接続語に対する苦手意識が下がったと思われる。</p> <p>自分の日記や作文でも、接続語を使って書こうという姿勢が見られるようになっている。</p>					

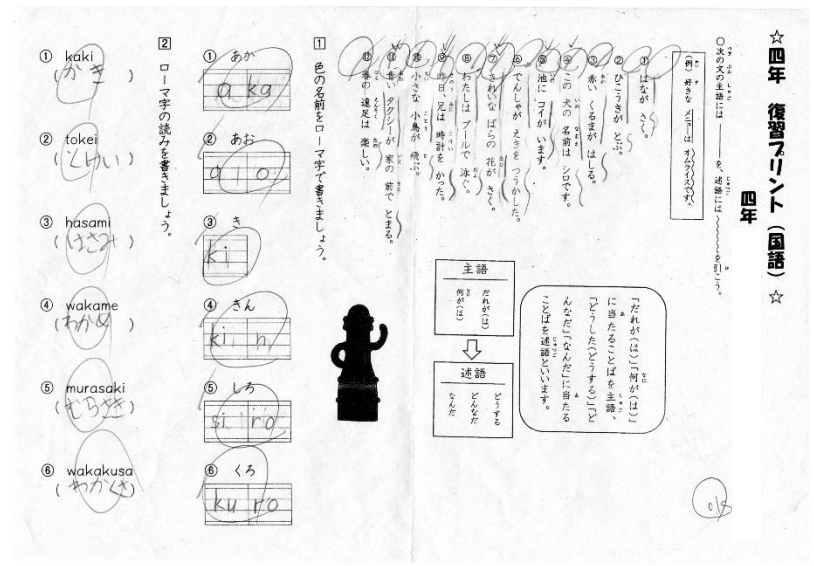
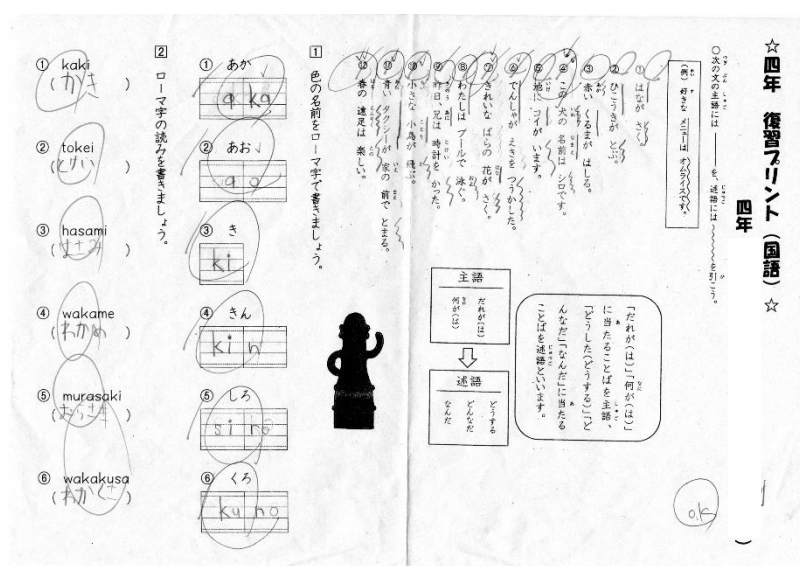
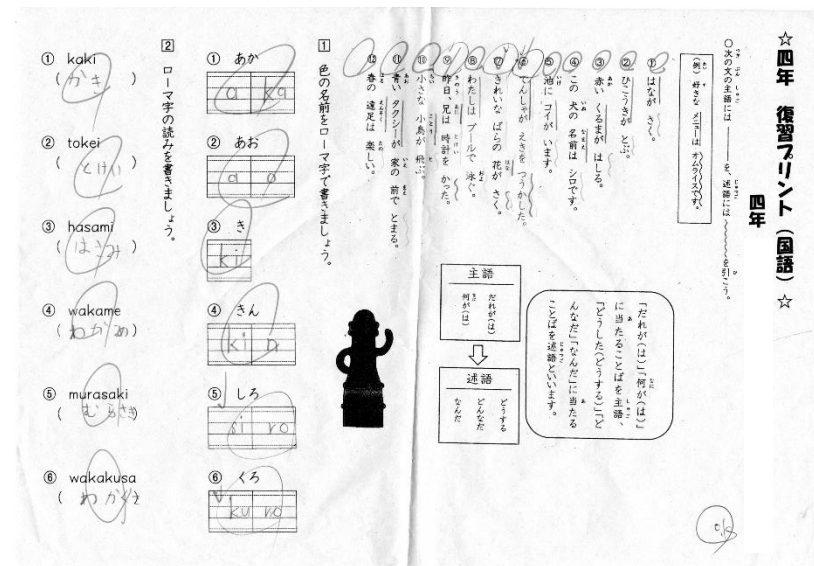


# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【門真市立脇田小学校】

<b>活用シート名</b>	⑩主語と述語をみつけよう			<b>基になった活用シート名</b>	言2 主語と述語を みつけよう
<b>学年</b>	小学校4年	<b>教科</b>	国語	<b>時期</b>	11月
<b>活用場面</b>	宿題の復習プリント			<b>配当時間</b>	
<b>目標</b>	主語と述語をみつけることができる。				
<b>活用シート</b>  <b>工夫した点</b>	 <p>●2年生で学習した「主語と述語」の内容の定着を図るため、宿題の復習プリントとして活用した。</p>				
<b>成果や改善点</b>	<p>●学習してから時間をおいて取り組んだので、忘れていた子も思い出すことができた。</p> <p>●何度も練習することで定着できるように、学年が進んでからも復習として取り組んでいる。</p>				

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

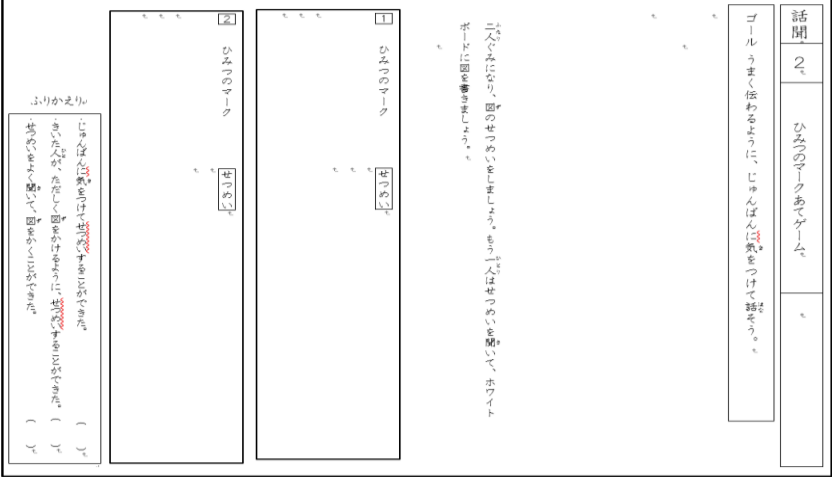


●すっかり忘れていて、何度もお直しをしている子もいるが、下の説明を見ながら、取り組んでいた。

# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【四條畷市立忍ヶ丘小学校】

活用シート名	⑱ひみつのマークあてゲーム			基になった活用シート名	話間2 ひみつのマークあてゲーム
学年	小学校4年	教科	国語	時期	10月
活用場面	授業			配当時間	45分
目標	相手に正しく伝わるように話そう				

活用シート 工夫した点		<ul style="list-style-type: none"> <li>●例をモデル学習として扱うためにワークシートから削除→別刷りしてあとで貼らせた。</li> <li>●1 2 の問題をA、Bそれぞれのお題としたため設問を「二人組になり、図の説明をしましょう。…」と書き換えた。</li> </ul> <p><b>指導の流れ</b>：①一つの図形について「分かりにくい説明」を聞いて描く →「分かりやすい説明」を聞いて描く ②どうすれば相手に正確に伝わるか考える ③正しく伝えるために必要なことに気を付けて、友だちに伝える（ペア学習）</p>
----------------	---	--

☆図を描くために、ホワイトボードを活用した

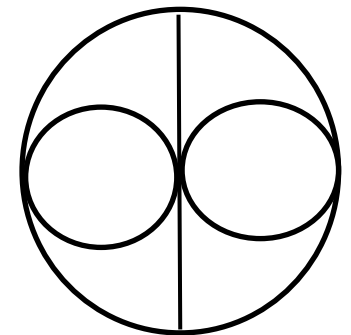
●TTで授業を行った。T1がまず順序や大きさなどの情報不足な「分かりにくい」説明をして、各自のホワイトボードに描かせ、情報の伝達が不十分＝正しい図が描けないことを実感させた。次に、T2が同じ図の説明として元のシートの「例」の文を使って同様に描かせた。するとほぼ全員同じ図形が描けた。説明の仕方によって伝わり方が変わることを実感することで、伝える時の大事な要素（順序に気を付ける、大きさや位置を伝える）を押さえることができた。

●前提条件として、「丸が三つと、棒が一本でできる図形」ということは伝えておいたので、どの子も戸惑わずに描き始められた。

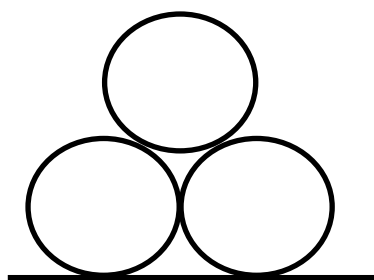
## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

<児童の解答より>

○はじめに大きな円をかいてください。  
次に、大きな円のまん中に上から下まで線を引いてください。  
それから、半分に分けた円の右と左にすきまがないように小さい円を2つずつかきます。  
これでできあがりです。



○はじめに大きな丸を一つかいてください。  
次に、その大きな丸のまん中に一本線をかいてください。  
そして、線をかいた右左の方にさっきかいた丸がくっつくぐらいの丸を一つずつかいて完成です。



○ まず中ぐらいの丸をまん中にかきます。  
次に、その丸の下に最初の丸とくっつくように2つ丸をかきます。  
すると、最初の丸を2つの丸の上に乗せるような形になると思います。  
最後に2つの丸にくっつくように横線を引けばできあがりです。

○ まず一番上に丸をかきます。大きさは自由です。  
次に、その丸と同じ大きさの丸を右下にくっつけてかきます。  
その後、さっきかいた丸と同じ大きさの丸を最初にかいた丸の左下にくっつけてかきます。  
最後に2つの丸の下にくっつけて横線を引きます。  
まん中に三角ができましたか。



# 「ことわざのちから」活用シート 活用事例

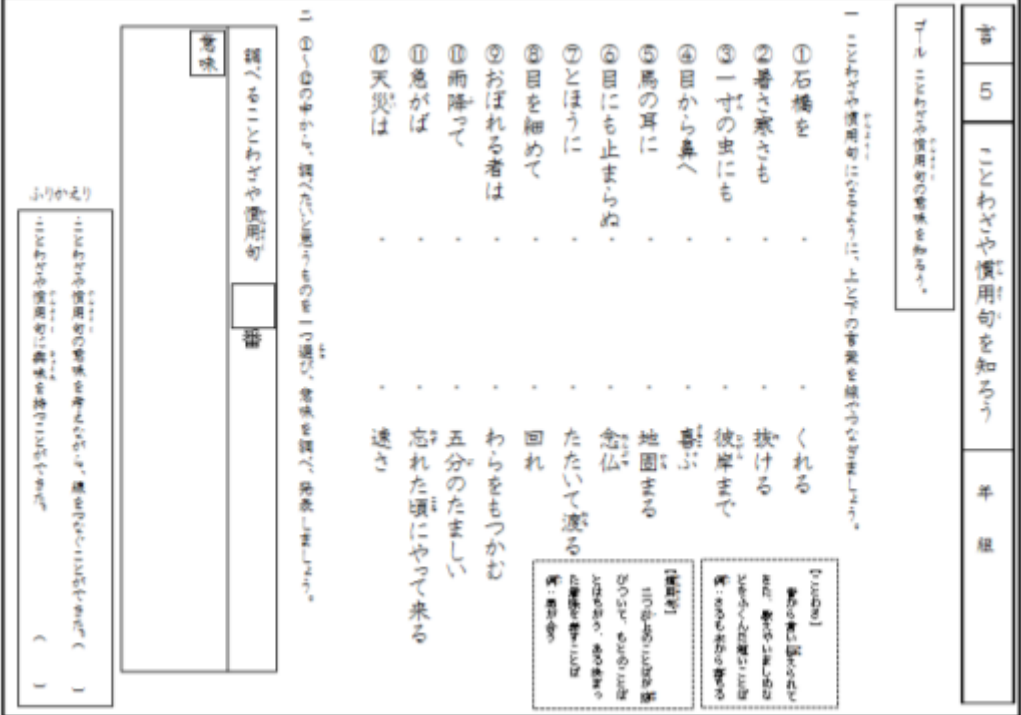
【交野市立倉治小学校】

活用シート名	⑳ことわざや慣用句を知ろう			基になった活用シート名	言5 ことわざや慣用句を知ろう
学年	小学校4年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業（展開）			配当時間	45分

**目標** 色々な意味を調べて語彙力を増やし、日常生活で活用できるようにする。

**活用シート**

**工夫した点**

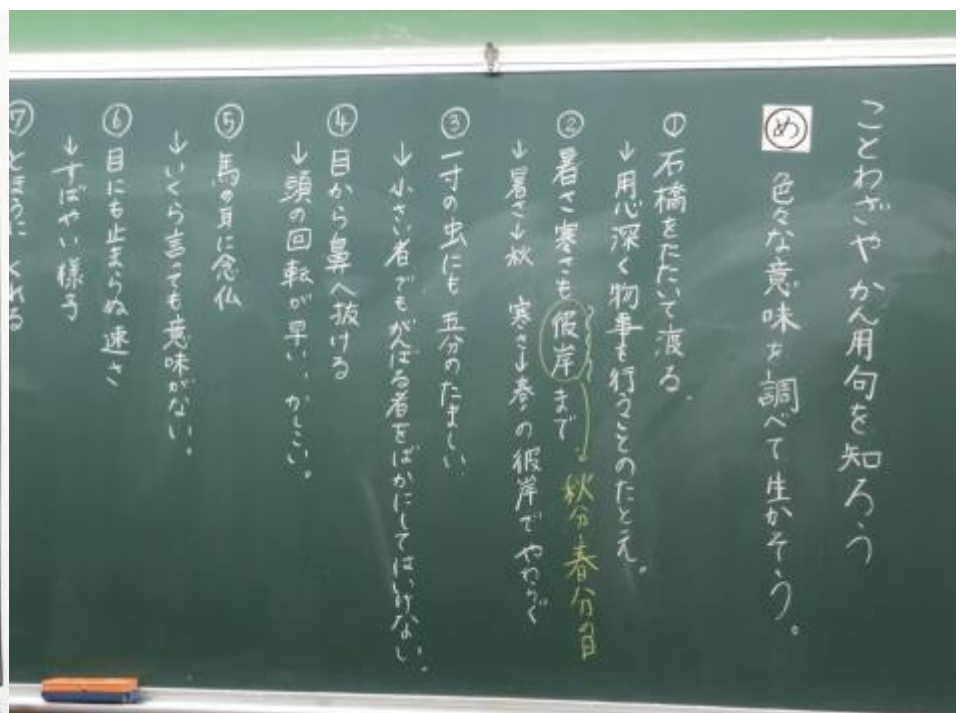
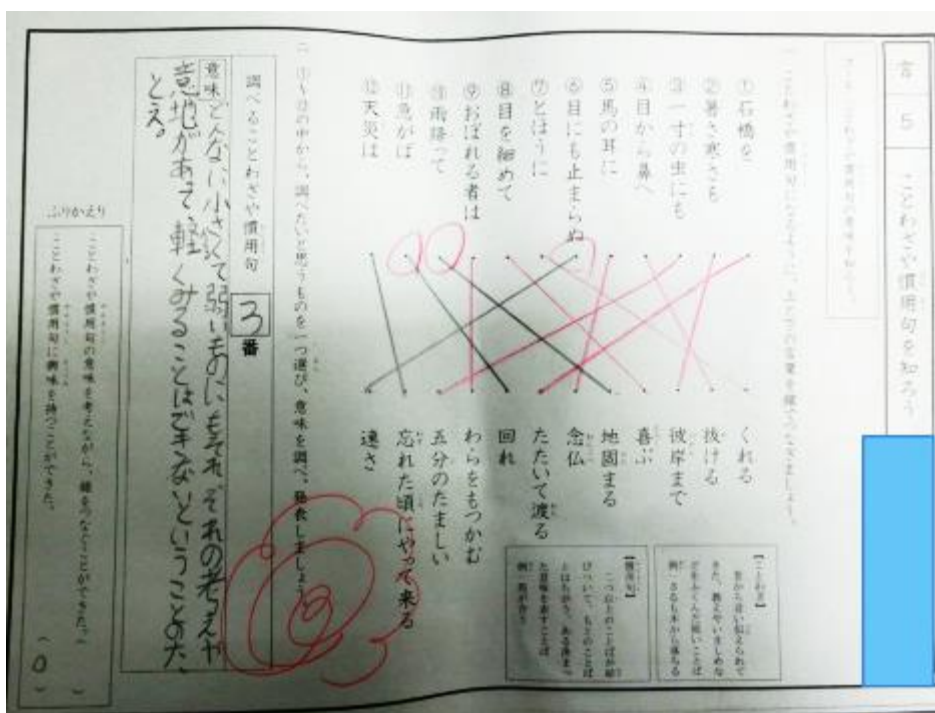


- 国語辞典を使いながら、一つ一つ意味をおさえた。
- 好きなことわざや慣用句を選択し、短文作りをした。

**成果や改善点**

- 日常会話でも児童がことわざや慣用句を進んで楽しみながら使うようになった。
- 復習でもう一度行った際、多くの児童が出来ており、身についていると感じた。
- 学習する前に既習のことわざや慣用句を書かせる欄を設けてもよかった。
- 4年生なのでふりかえりを記号ではなく、自分の言葉で書かせてもよかった。

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）



# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【八尾市立桂小学校】

<b>活用シート名</b>	②1 物語「ごんぎつね」をめぐる話し合おう			<b>基になった活用シート名</b>	話聞7 その生き物が好きなわけ
<b>学年</b>	小学校4年	<b>教科</b>	国語	<b>時期</b>	10月
<b>活用場面</b>	授業（展開）			<b>配当時間</b>	「書く」で1時間 「発表」で1時間

## 目標

- 理由とともに、自分の考えが言える。
- 話し合いを通して、一人ひとりの感じ方の違いに気付くことができる。

## 活用シート

## 工夫した点

●単元目標が「読んで考えたことを話し合おう」の物語「ごんぎつね」の学習のまとめで、物語をめぐる話し合いをさせる際に使用した。このシートのゴールである「自分の意見を言ってから、その理由をつけて話す」という部分に着目した。

●児童には、「ごんぎつね」についてグループで話し合いたいテーマを決めさせたので、どの生き物が好きかということと、どのテーマで話し合うかということを結びつけた。

●ただ話し合いさせるだけではなく、本校の児童に身に付けさせたい力の「条件に合わせて書く」活動を入れて行った。このワークシートをもとにして、授業の展開に合わせて編集・活用できた。

## 成果や改善点

- 【成果】
- 理由をつけて、自分の考えを話すことができた。
  - 交流の中で、一人ひとりの感じ方のちがいに気付くことができ、物語に対する考えを深めることができた。それによって、一人ひとりの違いを認め合う場面にもできた。
  - 限られた字数の中で、自分の考えを書くことを試みた。そうしたことによって、ポイントをずらさず話し合いをすすめることができた。
- 【改善点】
- 60字以上100字以内で書くという指定をしたので、ワークシートにあるような2つめの理由までは書かせることができていない。

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

自分たちで話し合うテーマを「物語の結末について」と『ごん』のつぐないの気持ちは、『兵十』にとどいたのか、「登場人物について」の3つにした。自分が選んだことについて、自分の考えを理由とともに発表できた。また、自分にはなかった考えを友だちから聴いて、ふりかえりに「〇〇ちゃんの見解になるほどと思った。理由は・・・」や「〇〇は、理由の根拠がはっきりしていて、たしかにその部分からも読みとれると思った。」などが書かれていたことから、一人ひとりの感じ方のちがいにも気付かせることができた。



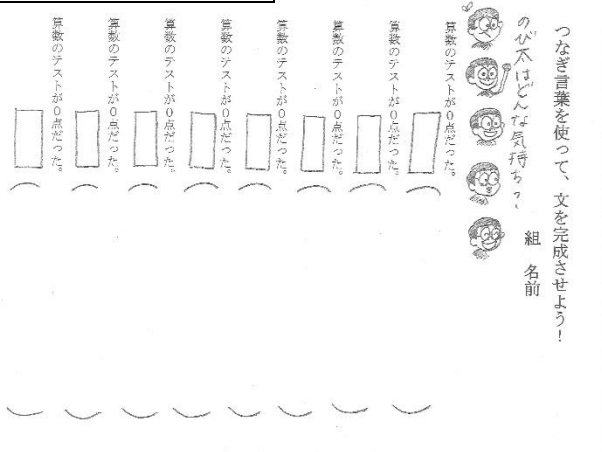
# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【八尾市立八尾小学校】

<b>活用シート名</b>	②接続語を使おう 文と文をつなぐことば			<b>基になった活用シート名</b>	読7①② 接続語（つなぎ言葉）を使おう 文と文をつなぐ言葉
<b>学年</b>	小学校4年	<b>教科</b>	国語	<b>時期</b>	11月
<b>活用場面</b>	つなぎ言葉を文章の中で効果的に使う			<b>配当時間</b>	2時間
<b>目標</b>	接続語（つなぎ言葉）の役割を理解し、自分で使えるようにする。				
<b>活用シート</b>	2枚の活用シートで基本的な接続語の使い方を学んだ後、他に準備しておいた3枚目のワークシートに取り組みました。3枚目のワークシートでは、前の文が同じ文章でも、接続語によって後に続く文が変わること、そのときに込められる気持ちが変わることを実感させた。				
<b>工夫した点</b>					
<b>成果や改善点</b>	授業の中で、子どもたちがつなぎ言葉の大切さに気付くことができました。3枚目のワークシートでは、ペアで楽しみながら自分の案を言い合うことができ、友だちが考えた文の良さにも気付くことができました。 このワークシートを、6年生の「表現を選ぶ」の単元でも使用する予定である。6年生では、書き言葉、話し言葉の違いによる、つなぎ言葉の違いを見つけられるようにしたい。				

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

### 3枚目のプリント



つなぎ言葉を使って、文を完成させよう！  
のび太はどんな気持ち？ 組名前

算数のテストが0点だった。  
たからり (お母さんにしかりれた)

算数のテストが0点だった。  
なのに (ばんきょうはしなかった)

算数のテストが0点だった。  
それも (べんきょうをするようになった)

算数のテストが0点だった。  
でも (またペーパーは、0点だった)

算数のテストが0点だった。  
なのに (ドラエモンにどうくもかして)

算数のテストが0点だった。  
しかし (ねてた)

算数のテストが0点だった。  
けれども (こうかいしなかった)

算数のテストが0点だった。  
しかし (つぎのテストは、100点だった)

⑤ つなぎことは、だいたいな思いました。ことがわかりました。

④ つなぎことばは、文をさそえてるようなものだと思います。

③ つなぎことばは、こんなにあるんだと思いましたが、その中で一番つかうのは、だから、しかし、と使えます。

② つなぎ言葉の大切さを知らずにつなぎ言葉は身近にあるんだと

つなぎことばは、いろいろな言葉がくみあわせていておもしろい。またまたやりたいたい。

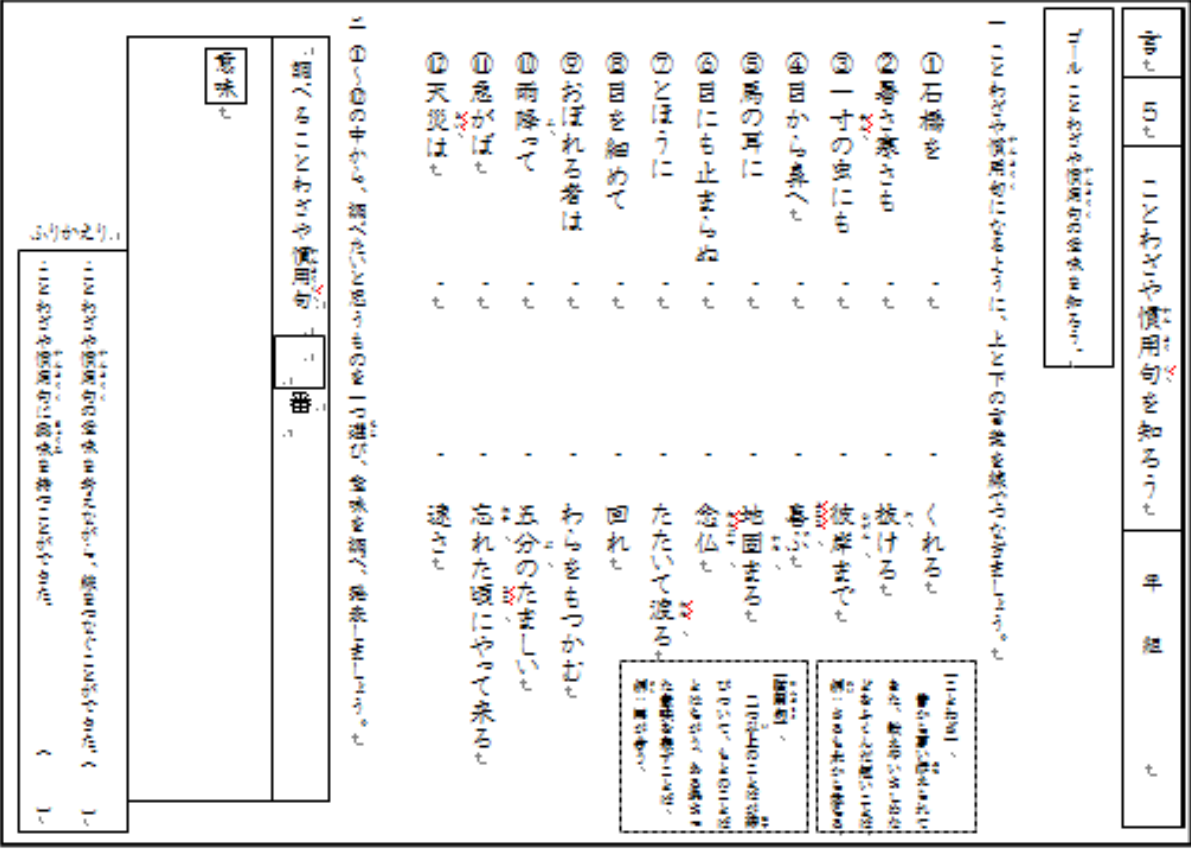
① わたしは、つなぎ言葉にこんな大切なことがあるとはしりなかった。作文を書く時は、つなぎ言葉をいしきして、つかいたいと思います。

① 今日は、つなぎ言葉がかんべきになった。お友だちもおもしろいつなぎ言葉で、おもしろかった。

児童の振り返り

# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【河南町立近つ飛鳥小学校】

<b>活用シート名</b>	㊸ことわざや慣用句を知ろう			<b>基になった活用シート名</b>	言5 ことわざや慣用句を知ろう
<b>学 年</b>	小学校4年	<b>教 科</b>	国語	<b>時 期</b>	6月
<b>活用場面</b>	朝学習			<b>配当時間</b>	10分
<b>目 標</b>	ことわざや慣用句の意味を理解する。				
<b>活用シート</b> ・ <b>工夫した点</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 70%;">  </div> <div style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全学年で、言語事項の内容を中心に、漢字の先行読みのテスト後、学期に4～5回「ことばのちから」のプリントを活用している。</li> <li>●解答例を印刷し、自分で○を付けた後、回収して定着度を評価している。</li> </ul> </div> </div>				
<b>成果や改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既習内容に取り組みさせるようにしているので、解答例を配布し、自分で○付けができています。子どもたちは、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>●年間の教材名と「ことばのちから」の活用シート名を記入した「年間計画」を作成したことで、各学年でシートを選択して、活用することができやすくなった。</li> </ul>				
<b>子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）</b>					



## 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【貝塚市立二色小学校】

<b>活用シート名</b>	②4ひみつのマークあてゲーム			<b>基になった活用シート名</b>	話聞2 ひみつのマークあてゲーム
<b>学 年</b>	小学校4年	<b>教 科</b>	国語	<b>時 期</b>	5月
<b>活用場面</b>	授業			<b>配当時間</b>	30分
<b>目 標</b>	順番に気を付けて、はじめに・・・つぎになどを使って説明することができる。				
<b>活用シート 工夫した点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 校内のモジュールの時間（一回15分）を活用し、一日目は先生からの例題を体験してから書く活動、二日目を自分で考えたものを話す活動として活用した。</li> <li>● 二日目は、友だちとアドバイスをしあいながら、より伝わりやすい分を考える時間とした。</li> </ul>				
<b>成果や改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動自体が謎解きのようにとても子どもたちは熱中して取り組むことができた。</li> <li>● 言葉足らずの部分がどうしても出てくるが、元の絵があるために確認をしながら、振り返りがしやすかった。</li> </ul>				

### 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

#### 発言

##### ① 最初の練習の時

「その説明だと、この丸の場所がわからないよ」

「順番に説明してくれるとよくわかった」

##### ② 自分で作った絵を説明するとき

「言った絵と全然違う絵になってしまった。なぜだろう」

「くわしく説明しなおしたからもういっかいやろう」

[目次へ戻る](#)

# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【茨木市立玉島小学校】

活用シート名	②⑤お話を一文で表現しよう			基になった活用シート名	読9 お話を一文で表現しよう
学年	小学校4年	教科	国語	時期	12月
活用場面	授業（展開）			配当時間	45分
目標	話をまとめる時に、キーワードを考え、一文にまとめることができる。				

<p>活用シート 工夫した点</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が学習した話を題材にするために、国語の教科書の話『ごんぎつね』に統一した。</li> <li>●一文にすることで、ポスターのキャッチコピーづくりにつなげられるようにした。</li> </ul>
------------------------	--	--

**成果や改善点**

- 児童全員が学習した話なので、まとめ方に共感したり、アドバイスを伝えたりしやすかった。
- 国語の授業でワークシートの前半部分はすでに押さえていることなのでなくてもよかった。その分、一文にまとめる活動に時間を多めにとる、いろいろな話を一文にする活動を取り入れるなどに活用する。

**子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）**

新美南吉文

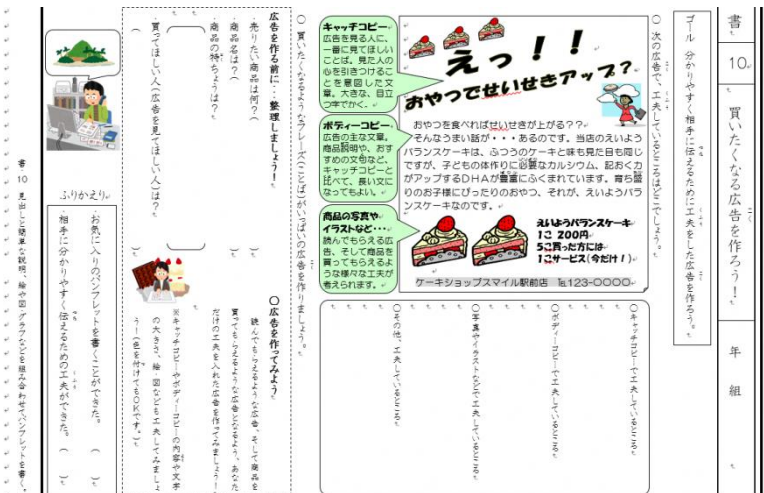
「ごん、お前だったのが。」  
ごんぎつね 作新美南吉 \*発売中!

Handwritten notes and drawings are also visible, including the title 'ごんぎつね' written vertically and a drawing of a fox.

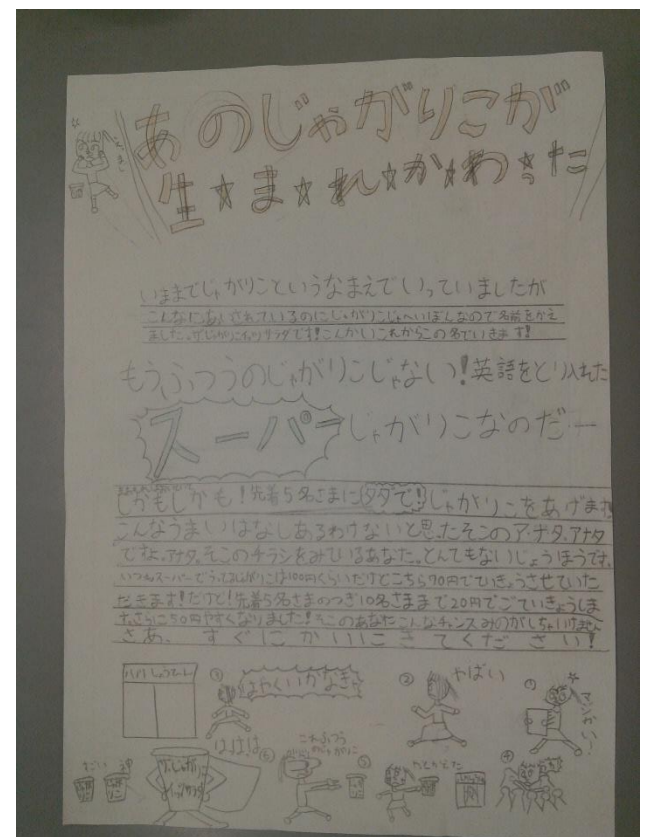
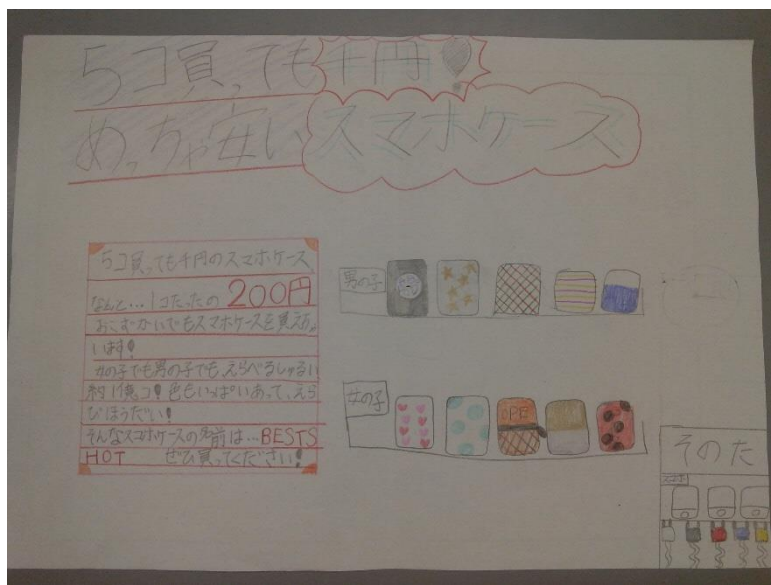
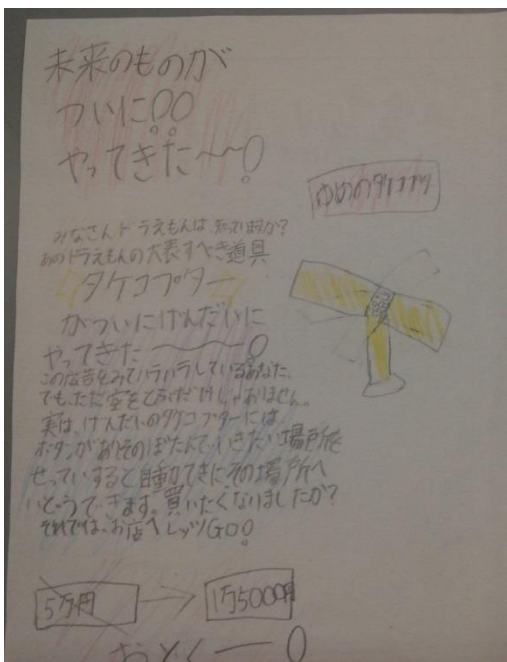


# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【和泉市立緑ヶ丘小学校】

<b>活用シート名</b>	㊸買いたくなる広告をつくろう			<b>基になった活用シート名</b>	書10 買いたくなる広告をつくろう！
<b>学年</b>	小学校4年	<b>教科</b>	国語	<b>時期</b>	11月
<b>活用場面</b>	授業			<b>配当時間</b>	45分
<b>目標</b>	分かりやすく相手に伝えるために工夫をした広告をつくろう。				
<b>活用シート</b>  <b>工夫した点</b>	 <p>●教科書の教材「アップとルーズで伝える」の学習で、分かりやすく相手に伝える方法について考えたので、活用シートもそれに近い内容のものにした。</p>				
<b>成果や改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広告について、わかりやすく読んだ人に伝えるための工夫を考えることができた。</li> <li>●オリジナルの広告作りでは、工夫を考えながら広告作りができた。</li> </ul>				

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【岸和田市立常盤小学校】

活用シート名	②「楽しみながら本を読もう」			基になった活用シート名	読5 楽しみながら本を読もう
学年	小学校4年	教科	国語	時期	常時
活用場面	読書タイム			配当時間	1時間
目標	読書に関心を持ち、ジャンルの幅を広げる。				

**活用シート**

**工夫した点**

- 完成したシートを教室に掲示した。

成果や改善点	
--------	--

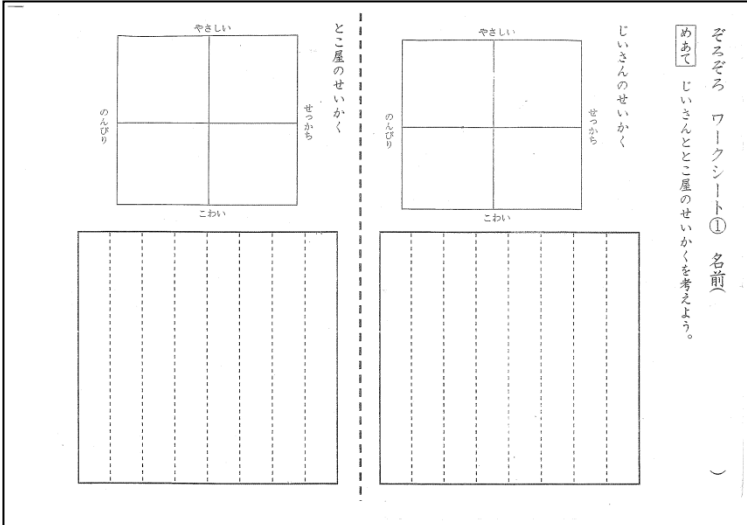
## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

- 本をただ読むだけでなく、読み終わった本を振り返ることによって、その本からどれだけの知識を得たのか、自覚することができた。
- 完成したシートを教室に掲示することにより、他の児童への読書の啓発となった。
- 子どもたちの読書のジャンルの幅を広げることによって役立っている。
- 他の児童が読んだ本を紹介されることによって、違う視点から読書の楽しみ方があることに気づいた児童がいた。

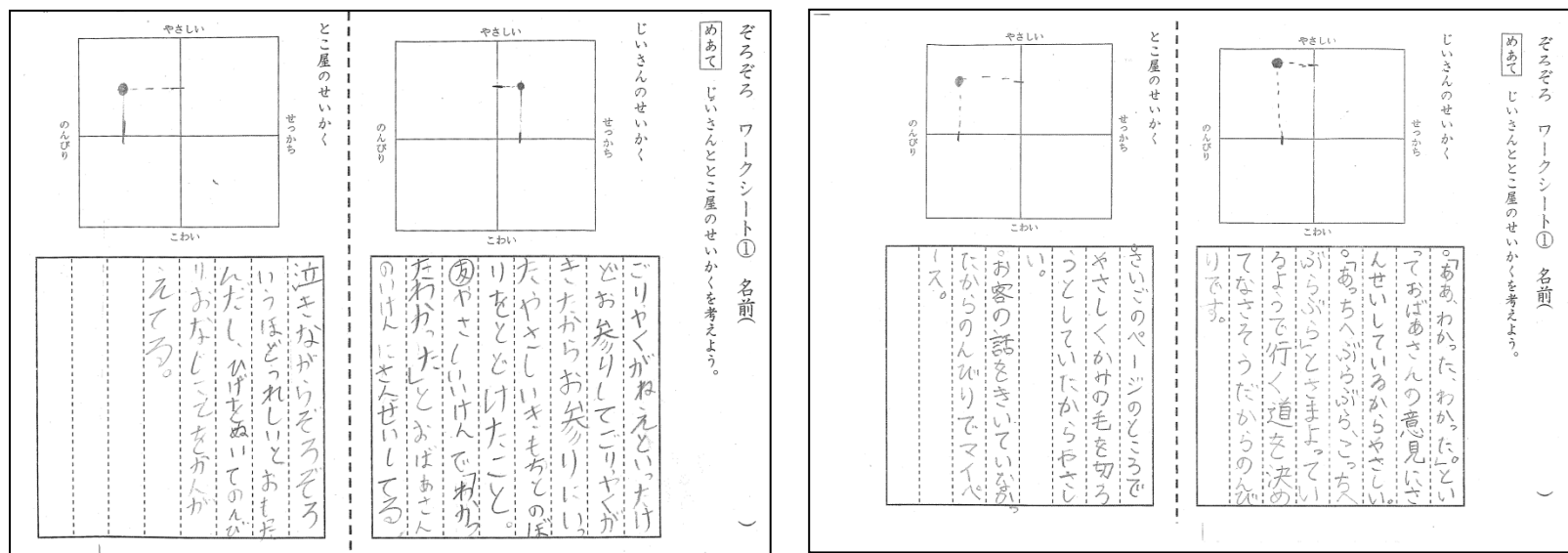


# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【阪南市立尾崎小学校】

活用シート名	⑳そろそろ ワークシート①			基になった活用シート名	読10 物語の登場人物の性格をまとめよう
学年	小学校4年	教科	国語	時期	7月
活用場面	登場人物の性格を考える			配当時間	45分
目標	じいさんととこやの性格から物語の読みを深める				
活用シート 工夫した点	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●どうしても性格を考えるときに、「やさしい」「こわい」といった一面だけを捉えがちな子どもたちに、性格が二面以上から成り立っていることを感じてもらえるようにチャート式で表現できるようにした。</li> <li>●どの文から、性格を決めたのかを書くときに、文を書き写すのではなく、「～から、〇〇だと感じた。」といったように指導した。</li> </ul>				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちは、二人の性格を考えることで、物語の中には一切描かれていない部分を想像し、それぞれの読みを深めることができた。</li> <li>●今回は、こちらで性格を決めたので、子どもたちが自分たちで性格をチャートに書き込めるようにするなど、考えを広げられるようにするべきだと感じた。</li> </ul>				

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



じいさん  
やさしい  
こわい

とこや  
やさしい  
こわい

めあて じいさんととこやの性格のせいかくを考えよう。

じいさん  
やさしい  
こわい

とこや  
やさしい  
こわい


めあて じいさんととこやの性格のせいかくを考えよう。

### 発言

茶店のじいさんの性格が、客の前とばあさんの前で態度が違うことから、じいさんは性格が悪いと感じた。なので、性格の悪いじいさんのおかげで茶店にそろそろ来たのではなく、毎朝お祈りをしていたばあさんのおかげで茶店にそろそろ客が来たと思った。

# 「ことばのちから」活用シート 活用事例

【太子町立山田小学校】

<b>活用シート名</b>	⑳俳句に親しむ			<b>基になった活用シート名</b>	言4① 俳句に親しむ
<b>学 年</b>	小学校4年	<b>教 科</b>	国語	<b>時 期</b>	11月
<b>活用場面</b>	授業（支援学級）			<b>配当時間</b>	45分
<b>目 標</b>	俳句の言葉の響きやリズムに親しみ、音読をしよう。				
<b>活用シート</b>  <b>工夫した点をかく</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●何度も繰り返し音読した。</li> <li>●八句の中からすぐに一句選び出せなかったため、一句ずつ比べた。</li> <li>●どんな夜空か、どんなポーズをしているか、どのように雪が降っているのかなど、一つずつ確認してから絵をかいた。</li> </ul>	
<b>成果や改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入学時（入級時）から 月ごとに音読する詩歌を決めて、毎日音読を続けており、俳句のリズムにも親しんでいたからか、すでに知っている俳句が六句あり、興味をもって学習できた。</li> <li>● 「絵」をかきましようという設定なのに、文字を書いてしまっていたが、そのままにした。</li> <li>● 下段にある俳句の説明も、理解しやすかった。</li> </ul>				

## 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

2人とも楽しく学習できていた。

手のひらで雪を受けている。綿雪なので、みんな笑顔。

